

# 平川動物公園フライングケージ改修工事

図 面 リ ス ト	
図 面 番 号	図 面 名 称
A－01	タイトル・図面リスト
A－02	建築工事特記仕様書 4-1
A－03	建築工事特記仕様書 4-2
A－04	建築工事特記仕様書 4-3
A－05	建築工事特記仕様書 4-4
A－06	工事概要・付近見取図・全体配置図
A－07	基礎伏図
A－08	鉄骨伏図
A－09	軸組図（1）
A－10	軸組図（2）
A－11	鉄骨詳細図（1）
A－12	鉄骨詳細図（2）
A－13	柱脚補強位置図
A－14	柱脚補強詳細図
A－15	大梁取替その他各部詳細図
A－16	ネット張替図・塗装範囲図
A－17	仮設計画図（1）
A－18	仮設計画図（2）

建 築 工 事 特 記 仕 様 書			特 記 事 項		特 記 事 項					
Ⅰ.工 事 概 要			○ 14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例] <table><tr><td>産業廃棄物収集運搬車</td><td>←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字</td></tr><tr><td>〇〇株式会社</td><td>←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字</td></tr></table> なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。		産業廃棄物収集運搬車	←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字	〇〇株式会社	←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字	○ 27. ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。 (※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。) 1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさへ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・薫蒸後、搬出を行うこと。 4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。 5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。	
産業廃棄物収集運搬車	←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字									
〇〇株式会社	←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字									
Ⅱ.建 築 工 事 仕 様			15. 内装仕上りに使用する材料等の選定について 1) ホルムアルデヒドを発散する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具) 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等 2) クロルピリホスについて クロルピリホスを添加しないこと。 クロルピリホスを添加した材料でないこと。 3) 建築材料の種別、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 ア) 施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 イ) 材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。 ウ) 工事終了後に、内装仕上部分を写した写真を提出すること。 ※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く) ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。		○ 28. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令等に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。 ○ 29. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に倒潰等)の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。 ○ 30. 工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。 ○ 31. 工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。 ○ 32. 工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。 ○ 33. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとすること。					
Ⅲ.一 般 事 項			○ 16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」として取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 ア) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 イ) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間 ウ) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 エ) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2) 発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。		○ 34. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。 ○ 35. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。 ○ 36. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 ○ 37. 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を速滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。 ○ 38. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。 39. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査(建物の実情)を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。 また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。 40. 本工事に伴いスラブに設ける墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。					
1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする 2. 前払金 ※請求することができる 令和 年度中に請求すること 3. 中間前金払 1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は、中間前金払が部分払かのいずれかを選択することができる。 2) 中間前金払を受けるための要件(全て満たすこと。) ア) 請負金額の10分の4の前金払がなされていること。 イ) 工期の2分の1を経過していること。 ウ) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 エ) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。 3) 中間前払金の割合について 請負代金の10分の2以内とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。 4. 部分払 部分払については、鹿児島市契約規則による。 5. 部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1.仮設工事 2.土工事 3.地業土工事 4.鉄筋工事 5.コンクリート工事 6.鉄骨工事 7.コンクリート・ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 8.防水工事 9.石工事 10.石工工事 11.木工工事 12.屋根及びびとい工事 13.金属工事 14.左官工事 15.建具工事 16.カーテンホルダー工事 17.塗装工事 18.内装工事 19.ユニット及びその他の工事 20.排水工事 21.舗装工事 22.植栽及び屋上緑化工事 6. 火災保険等 請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ※ 火災保険等(工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)等)に生じる損害を填補) (※ 火災等 ※ 工事材料等の盗難等 ・その他( )に対応したものを含むこと。) ※ 請負業者賠償責任保険(工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補) なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。 その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。			○ 41. 工事完成写真の仕様について 1) インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとする。 2) カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。 3) 完成検査若しくは、工事的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。 42. 再生資材(再生クワッチャラン等)については、再資源化施設製造のものを使用すること。							
7. 住宅瑕疵担保履行法について 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるのを注意すること。 8. 契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任(鹿児島市建設工事請負契約書第41条)の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。			○ 17. 現場代理人の兼任について 1) 現場代理人の兼任を認める工事 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の ア)から カ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。 なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、イ)、ウ)、カ)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。 ア) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4, 500万円※未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4, 500万円※以上となり、各々の工事における主任(監理)技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。 ※建築一式工事は9, 000万円 イ) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ウ) 兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。 エ) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 オ) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。 2) 手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。 3) 受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。		○ 43. 法定外の労災保険の付保について 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ○ 44. 堅落制止器具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、堅落制止器具の使用を講じること。					
9. 施工体制台帳の提出等 1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2) 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務 (2)土砂やコンクリート等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務 (4)その他監督職員が記載を指示した業務等			○ 18. 低入札価格調査に基づく措置について 低入札価格調査基準価額未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1) 施工体制の強化 ア) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。))には、専任の主任技術者等を配置すること。 イ) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に關し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。 a) 65点未満の工事成績評定を通知された場合 b) 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 c) 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d) 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合 2) 監督体制の強化 ア) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 イ) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。		○ 45. 営繕工事における週休2日工事について 実施に当たっては、鹿児島県「営繕工事における「週休2日」工事実施要領(令和7年8月1日施行)(以下、「実施要領」という。))」を準用するものとする。なお、実施要領は鹿児島県ホームページから入手できる。					
10. 環境基本計画 1) 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること 2) 本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3) 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4) 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷とすること。 5) 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいよう分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。			○ 19. 「快適トイレ」の試行について 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 20. 足場の設置について 足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省令和5年12月26日)によるものとする。 なお、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、決定することとする。 ○ 21. 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。 ○ 22. 交通誘導員について 本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議すること。 また、受注者は工事着手前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。		○ 46. 電子納品 本工事は電子納品対象工事とし、市HPに掲載する鹿児島市電子納品ガイドライン【建築・設備編】及び鹿児島市電子納品ガイドライン 運用の手引き【建築・設備編】に定める基準に基づいて作成した電子成果品を納品すること。 ただし、事前協議により電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。					
11. 排出ガス対策型建設機械の使用について 本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。 ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合等は、監督員との協議により、未対策型建設機械を使用してもよいものとする。 (1)バックホウ (2)ホイールローダ (3)ブルドーザ (4)発動発電機 (5)空気圧縮機 (6)油圧ユニット (7)ローラ類 (8)ラフテレーンクレーン なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。			○ 23. 地下工事について 地下室等(地下工作物)がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をすること。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。 建設場所毎の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないよう行うこと。		○ 47. 情報共有システムを活用した工事の試行 本工事は、情報共有システム活用の試行対象工事である。試行にあたっては、鹿児島市営繕工事等における情報共有システム活用工事試行要領(令和8年4月1日)に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。					
12. 低騒音型建設機械の使用の原則化について 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年建設省経機発第58号)に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年建設省告示第1536号)により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。 なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。			○ 24. 杭打ち・地盤改良工事について 地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に逸水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。		○ 48. 施工体制点検等への協力 請負代金額が4, 500万円(建築一式工事は9, 000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4, 500万円(建築一式工事は9, 000万円)未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請契約」を実施するの、受注者はこれに協力すること。					
13. ダンプトラック等による過積載等の防止について 1) 工用資機材等の積載超過のないようにすること。 2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。 5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に關しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。 7) 1)から6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。			○ 25. 周辺住民への説明等について 工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得られるように努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。 (近隣住民から相談・苦情の申立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。)		○ 49. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出 工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図面に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。 電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。					
			○ 26. 本工事は公共工事であることを十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。		○ 50. 監理技術者等の途中交代 監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 1) 受注者の真にやむを得ない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合 2) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点 3) ダム、トンネル等大規模な工事でありかつ契約工期が多年に及ぶ場合 上記の場合においても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。 ○ 51. 監理技術者等の途中交代の試行について 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。 1) 工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。 2) 受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。 なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。 ○ 52. 公共工事における現場一斉閉鎖の実施について 受注者は、公共工事における現場一斉閉鎖の実施に協力するものとする。なお、現場閉鎖の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意)とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているのを確認のこと。 53. 道路占用許可申請及び道路使用許可申請について 申請については、受注者が道路管理者や警察署と協議するものとし、必要書類については、監督員と協議の上、作成すること。 なお、道路占用料及び道路使用許可申請手数料については、監督員との協議により設計変更の対象とする。					
					株式会社米倉設計事務所 一級建築士 第 137511 号 米倉 真一					
					平川動物公園フライングケージ改修工事 建築工事特記仕様書 4ー1 鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R80401					

章	適用	項目	特記事項	章	適用	項目	特記事項					
各章共通事項	1	○ 1. 適用基準等	・ 建築工事標準詳細図：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 敷地調査共通仕様書：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版) ・ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版) ・ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版) ・ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版) ・ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版) ・ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版) ○ 営繕工事写真撮影要領(令和5年版) ・ 工事写真撮影ガイドブック(建築工事及び解体工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針：国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領：関東地方建設局営繕部作成		6 コン クリ ート 工 事	1. 一般事項	コンクリートの類別 ※Ⅰ類・Ⅱ類 (6.2.1) 気乾単位容積質量による種類 ・普通コンクリート ・軽量コンクリート (6.2.1) 設計基準強度( $F_c$ ) (6.2.2) 種類 普通コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> ) 15 18 21 24 27 30 36 部品 軽量コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> ) ・15 ・18 ・21 ・24 ・27 ・( ) (6.2.2) ※ 構造体強度補正值(普通ポルトランドセメント) その他のセメント種類は(表6.3.2)による コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温 $\theta$ の範囲(℃) $0 \leq \theta < 8$ $8 \leq \theta$ (6.3.2) 構造体強度補正值(N/mm <sup>2</sup> ) 6 3					
		2. 電気保安技術者	※適用する (1.3.3)	2. コンクリートの品質			普通コンクリート気乾単位容積質量 ※2.3t/m <sup>3</sup> 程度 ・( ) (6.2.3) スランブ (6.2.4) 打込み箇所 基礎、基礎梁、土間スラブ 柱、梁、スラブ、壁 所要スランブ(cm) ※15 ・18 ・ ※18 ・ 部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 ※6.2.5(1) ・( ) (6.2.5) 合板使用打放し仕上げ種別 (6.2.5)(6.8.2) 種類 適用箇所 JAS 種別 合板厚さ 塗装 ・A種 ※表面加工品 ・B-C ※12 ・15 ※有 ・無 ・B種 ・表面加工品 ※B-C ※12 ・15 ・有 ※無 ・C種 ・表面加工品 ※B-C ※12 ・15 ・有 ※無 平たんさ ※表6.2.5 ・( ) (6.2.5)					
		○ 3. 施工条件		3. コンクリートの材料			セメント ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・( ) (6.3.1)(表6.3.1) ・高炉セメントB種 (適用箇所： ) (適用箇所： ) ・普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210ポルトランドセメントに示された規定の他、右の規定に適合しなければならない。全アルカリの算出は、JIS R 5210ポルトランドセメント(低アルカリ形)による。 骨材 フェロニッケルスラグ骨材及び銅スラグ骨材 ( ・使用する ・使用しない) (6.3.1) アルカリシリカ反応性区分(※A・B) 混和材料 ・混和剤( ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ ) ・混和材( ・フライアッシュⅠ種 ・フライアッシュⅡ種 ・高炉スラグ微粉末 ・コンクリート用膨張材 ・ ) (6.3.1)	水和熱(J/g) 7日 352以下 28日 402以下 全アルカリ(%) 0.75以下 塩素(%) 0.035以下				
		○ 4. 技能士	・鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・コンクリート圧送施工 ・型枠施工 ・とび ・ブロック建築 (1.5.2) ・鉄工( ・構造物鉄工作業 ・製作作業) ・エーメル・ハネル施工 ・石材施工(石張り作業) ・防水施工( ・ウレタン系塗膜防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・アスファルト防水工事作業 ・アクリルゴム系塗装防水工事作業) ・タイル張り ・建築大工 ・かわらぶき ・建築板金(内外装板金作業) ・左官 ・サツシ施工 ・ガラス施工 ・カーテンウォール施工 ・建具製作( ・木製建具 手加工作業 ・アルミ製室内建具製作作業 ・木製建具 機械加工作業) ・内装仕上げ施工( ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業) ・塗装(建築塗装作業) ・畳製作 ・表装 ・造園 ・熱絶縁施工(吹付硬質ウレタンフォーム断熱工事作業) ・樹脂接着剤注入施工				4. 型枠	外部コンクリート打放し仕上げ打増し厚さ ※20mm ・( ) ひび割れ発生目地位置等 ※図示による ・( ) (6.8.1) 床型枠用鋼製デッキプレート 建築技術評価「鉄筋コンクリートの建築物等における床型枠用鋼製デッキプレートの開発」において評価を取得したもの又は、評価名簿によるもの。(6.8.3) MCR工法用シート ・使用する ・使用しない スリプ材種 ・鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・つば付き鋼板 (6.8.2)(表6.8.1)				
		○ 5. 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、 工事実績情報システム(コンス)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、(一財)日本建設情報総合センターに登録しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。 (ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない) 本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。				5. 軽量コンクリート	種類 ・1種 ・2種 (6.10.1)(表6.10.1) スランブ ※21cm以下 ・( ) (6.10.2) 気乾単位容積質量( )				
		○ 7. 特別な材料の工法	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	6. 無筋コンクリート			適用箇所( ) (6.14.1) 設計基準強度 ※18N/mm <sup>2</sup> ・( ) (6.14.1) スランブ ※15cm ・18cm ・( )		7. 防水剤入コンクリート	施工箇所( 屋根スラブ ) スランブ(cm) ・15 ・( ) 混和剤( 活性進化防水剤 ) 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする )		
		○ 8. 発生材の処理等	建設副産物の処理 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせっこうボードの有無を明記するとともに、せっこうボードが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。				○ 1. 鉄骨製作工場	※製作工場(グレード・H・M・R・U・指定なし) (7.1.3) 施工管理技術者 ※適用する ・適用しない (7.1.4)		○ 2. 材料	鋼材 (7.2.1)(表7.2.1) 種類の記号 使用箇所 規格等 SS400 図面による ※JIS規格 ※JIS規格 ※JIS規格 ※JIS規格 ※JIS規格 高力ボルト (7.2.2) ※トルシアン形高力ボルト(セットの種類2種(S10T)) ・JIS形高力ボルト(セットの種類2種(F10T)) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト(セットの種類1種(F8T相当)) 径( ) 普通ボルト (7.2.3)(表7.2.3) ボルト(※六角ボルト ・ ) ナット(※六角ナット ・ ) ボルト径( ) アンカーボルト (7.2.4) 構造用材質(※SNR400 ・ ) 建方用材質(※SS400 ・ ) 形状及び寸法( ) ターンバックル (7.2.6) ターンバックル胴の種類： ※割枠式 ・( ) ターンバックルボルトの種類： ※羽子板ボルト ・( ) デッキプレート (7.2.7) 構造用材質( ) 形状及び寸法( ) スタッド (7.2.8) 種類( ) 柱底均しモルタル (7.2.9) ・無収縮モルタル(製造所：評価名簿による) スカラップ ※改良型(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」別図3.11) ・( ) 材料試験 ※規格品証明書を提出 (7.2.10)	
		○ 9. 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	3 土工事			1. 埋戻し及び盛土 種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 各層厚さ ※300mm程度ごとに締め固める (3.2.3)(表3.2.3) 2. 地均し 工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。 ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。 (3.2.4) 3. 建設発生土の処理 ※( )処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。 ・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し (3.2.5) 4. 山留め ・存置する ※存置しない (3.3.3)		○ 3. 工 作 一 般	株式会社米倉設計事務所 一級建築士 第137511号 米倉 眞一	平川動物公園フライングケージ改修工事 建築工事特記仕様書 4-2 鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R80401	
		10. 設備工事との取扱い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並びに自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。	4 地業工事			1. 砂利地業 材料 ・再生クラッシュラン ・切込砂利及び切込砕石 厚さ ※60 ・( ) 再生クラッシュランは、原則としてかごま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。 (4.6.2)(4.6.3) 2. 砂地業 厚さ ・30 ・60 ・( ) (4.6.3) 3. 捨コンクリート地業 厚さ ※50 ・( ) (4.6.2)(4.6.4) 4. 床下防湿層 施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) (4.6.2)(4.6.5) 材料 ※ポリエチレンフィルム ・( ) 厚さ ※0.15 ・( ) 重ね合せ及び基礎梁際の折り下がりは、250mm程度とする。					
		○ 11. 完成図等	・ 完成図等を提出すること。 (1) 電子データ 「46.電子納品」とおり。 (2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上げについては監督員と協議。 ・ 保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式) ・取扱い説明書 部数部 (建設戸数+2戸分)	5 鉄筋工事			1. 鉄筋の種類 ※JISG3112 ・JIS3117 (5.2.1)(表5.2.1) 種類の記号 呼び名(mm) ・SD295 D16以下 ・SD345 D19以上 ・SD390 D29以下 ・ ・高強度せん断補強筋(建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工：( )) ※図面による 2. 溶接金網 ・鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径。 ※図示による (5.2.2) 3. 継手及び定着 柱及び梁の主筋 ( ※D19以上 ・ ) ・重ね継手 ※ガス圧接 (5.3.4) その他の鉄筋 ( ※D16以下 ・ ) ※重ね継手 ・( ) 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 かぶり厚さは目地底から算定する。 ※(表5.3.6)による ・構造特記仕様書による ・図示による (5.3.5) ・耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ 施 工 箇 所 鉄筋のかぶり厚さ(mm) 5. 帯筋 形の種別 ・H形 ・W-1形 ・SP形(スパイラル筋) ・丸形 (別図2.2) 6. 最上階柱頭補強 ※行う ・行わない 7. 壁開口部の補強 一般壁 ・A形 ※B形 ・図示 (別図4.3)(表4.3)(表4.4) 耐震壁 ※B形 ・図示 8. 土間コンクリート補強 補強箇所 ・土間 ・犬走り ・( ) 9. 梁貫通孔の補強形式 補強形式 ※H形 ・ (別図7.1)(表7.1~3) 10. 圧接完了後の試験 検査方法 ・引張試験(JIS Z 3120) ※超音波探傷試験 ※外観試験 (5.4.10) 11. 各部配筋 図示のないものは、各部配筋参考図による。					
		○ 12. 工事写真	区分 分類 規格 撮影枚数 部数 原画の大きさ 備考 ※着工前 ※カラー ・ ※L版程度 ・ ※1部 24×36以上 ・ ※工事中 ※カラー ・ ※L版程度 ・ ※1部 24×36以上 ・ ※完成時 ※カラー ・ ※L版程度 枚 ※1部 ・60×90以上 外観4面 ・キャビネ版 ・ ・24×36以上 主要内部									
		13. 竣工写真	竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。) ・完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)									
		○ 14. 既存建物との取扱い	工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。									
		15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。また、指針値を上回った場合は、引渡しをするまでの間、換気の繰り返し又はベークアウト等により濃度の低下に努め、指針値以下になるようにすること。なお、住宅については「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の評価方法基準第5の6-3の(3)の定めにより測定等を行うこと。 測定対象 ・住宅 (建設戸数の1割以上(10戸未満の場合は1戸以上)で、各住戸2室以上) ・非住宅 (測定対象室( )) 測定項目 ・5項目(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン) ・6項目(上記5項目及びバニリン・プロピルベンゼン)									
		16. 部分使用	・有(部分使用の場所等)									
		17. 指定部分	・有(範囲、時期については監督員の指示による)									



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																													
7 鉄 骨 工 事	○ 4. 溶 接 接 合	開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ・ L形 (7. 6. 4) ・ K形 (7. 6. 7) 余盛り高さ ※鉄骨精度検査基準による ( ) ○ 鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 ( ) ○ 溶接部の試験 (7. 6. 12) ※ 外観試験 (a) ( ) (b) ( ) 超音波探傷試験 行う AOQL(工場溶接) レベルⅠ：4.0% ・レベルⅡ：2.5% 検査水準 ※第6水準 ( )	11 タ イ ル 工 事	1. 共 通 事 項	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11. 1. 3) 位置 外壁( ※表11. 1. 1 ・図示による) 屋内( ( ) ) 寸法 ※9. 7. 3 ( ) 2. 施 工 後 の 確 認 及 び 試 験 ※ 外観の確認 ※ 打診による確認 ・引張接着試験 (11. 1. 7) 3. 材 質 材 料 タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2) <table><tr><th>施工箇所</th><th>形状・寸法</th><th>耐凍害性</th><th>耐滑り性</th><th>役物</th><th>色</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・有 ・無</td><td>・有 ・無</td><td>・有 ・無</td><td>・標準 ・特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・有 ・無</td><td>・有 ・無</td><td>・有 ・無</td><td>・標準 ・特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・有 ・無</td><td>・有 ・無</td><td>・有 ・無</td><td>・標準 ・特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・有 ・無</td><td>・有 ・無</td><td>・有 ・無</td><td>・標準 ・特注</td></tr></table> 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 ) タイル試験張り ( ・実施する ・実施しない ) タイル見本焼き( ・実施する ・実施しない ) 4. セメントモルタルによる タ イ ル 張 り ・ 既調合モルタル( ) (11. 2. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ ( ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧水洗)) (11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別 ( ) ( ) 工法 ( ) ( ) 5. 有 機 系 接 着 剤 に よ る タ イ ル 張 り (11. 3. 3) (11. 3. 5)	施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色			・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注			・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注			・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注			・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注	12 木 工 事	2. 防 腐 ・ 防 蟻 ・ 防 虫 処 理 しろあり防除工事 鹿児島県土木部建築課監修 鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする) 土壌処理 ※行う(範囲: ) ・行わない 木材処理 ※行う(範囲:各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く) ) ・行わない 防腐・防蟻処理 ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12. 3. 1) ・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 防虫処理 ・行う ※行わない (12. 3. 2) 土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。 木材処理のみ行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。 (12. 4. 1) 3. RC造等の内部間 仕 切 軸 組 及 び 床 組 木材 間仕切軸組に用いる製材・杉 ・松 ・( ) 床組に用いる製材(土間スラブ類の土台、転ばし根太) ・ひのき ・保存処理木材 ・( ) 床組に用いる製材(上記以外) ・杉 ・松 ・( ) 4. 窓、出入口その他 木材 窓、出入口、その他に用いる製材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ひのき ・( ) (12. 5. 1) その他 ・松 ※杉 ・( ) (12. 6. 1) 5. 床 板 張 り 木材 縁甲板、上がりがまちに用いる製材 ※ひのき ・( ) ・図示による (12. 7. 1) 6. 壁 及 び 天 井 下 地 木材 杉 ・松 ・( ) ・図示による
	施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色																															
			・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注																															
		・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注																																
		・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注																																
		・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・標準 ・特注																																
○ 5. 錆 止 め 塗 装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲( ) (7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲( ) 種別 鋼製スリーブ内面( ※As種 ・Bs種) (7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面 ( ) (7. 8. 4) (7. 9. 2)	12 木 工 事	1. 材 質 材 料	木材 木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。 市内産材の確保が難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。 ・ 地域産材の場所 ( )地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している 市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産 産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたもの 指定部分 ・構造材全て ・その他( ( ) ) 含水率 構造材 ※20％以下とする。 下地材 ※A種 ・B種 造作材 ※A種 ・B種 製材 「JAS1083」による製材 下地用製材 樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質※ 図示による 等級 ・図示による ※2級 造作用製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質※ 図示による 板類における等級 ※ 枠、端縁、敷居、かもし、かまちの類の見え掛り面は上小節、 それ以外は小節以上 ・ 図示による 広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※1等 ・図示による ・( ) 含水率 ※10％以下 ・図示による ・( ) 「JAS1083」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による 造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・B種 (表12. 2. 2) 造作用集成材 「JAS1152」による造作用集成材 造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※1等 ・図示による 化粧ばり造作用集成材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※1等 ・図示による 化粧ばり構造用集成柱 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 「JAS1152」以外の造作用集成材 造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※15％以下 ・図示による ・( ) 化粧ばり造作用集成材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※15％以下 ・図示による ・( ) 化粧ばり構造用集成柱 樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ ※ 図示による 含水率 ※15％以下 ・図示による ・( ) 造作用単板積層材 「JAS0701(単板積層材)」に基づく造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 含水率 ※14％以下 ・図示による ・( ) JAS3078(直交集成板) 品名、強度等級、種別、接着性能(使用環境)、樹種及び寸法 ※ 図示による 合板等 下地用普通合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 厚さ ※5. 5mm ・図示による 接着の程度 ※1類 ・図示による 板面の品質 ※2等以上(広葉樹) ※C-D以上(針葉樹) ・図示による 下地用構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※ 図示による 厚さ ※12mm ・図示による 接着の程度 ※1類(湿潤箇所を除く) ※特類(湿潤箇所) ・図示による 等級 ※2級以上 ・( ) 板面の品質 ※C-D以上 ・図示による 化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による 湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※特類 ・図示による 天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※ 図示による パーティクルボード 表裏面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ ※ 図示による 曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ ※厚さ15mm、曲げ強さ13タイプ、耐水性MR1(M)又はMR2(P)タイプ 構造用パネル 品名、厚さ ※ 図示による MDF 表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分 ※ 図示による 難燃性による区分、厚さ ※ 図示による 接合具等 (12. 2. 2) 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法、材質 ※12. 2. 2(2)(ア)による ・( ) ・図示による																																	
○ 7. 工 事 現 場 施 工	建方精度 ※鉄骨精度検査基準による ・( ) (7. 10. 2) アンカーボルト ・構造用アンカーボルト 形状( )寸法( ) (7. 10. 3) 鋼製アンカーフレーム ・図示による ・( ) ・ 建方用アンカーボルト 保持及び埋込方法( ・A種 ※B種 ) (7. 10. 3)(表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法 工法(※A種 ・B種) 厚さ( ) (7. 11. 2) ボルト接合 ※普通ボルト接合 ・( ) 座鉛めっき (7. 12. 4)(表14. 2. 2) <table><tr><th>垂鉛めっき種別</th><th>材 料</th><th>適用部位</th></tr><tr><td>A 種</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>B 種</td><td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>C 種</td><td>最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td></td><td>普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類</td><td></td></tr></table> 高力ボルト接合摩擦面 ・ブラスト処理 ・( ) (7. 12. 5)		垂鉛めっき種別	材 料	適用部位	A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類		B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類		C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類			普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類																					
垂鉛めっき種別	材 料		適用部位																																		
A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類																																				
B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類																																				
C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類																																				
	普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類																																				
○ 8. 軽 量 形 鋼	ボルト接合 ※普通ボルト接合 ・( ) (7. 11. 2)																																				
9. 溶 融 垂 鉛 め っ き 工 法	座鉛めっき (7. 12. 4)(表14. 2. 2) <table><tr><th>垂鉛めっき種別</th><th>材 料</th><th>適用部位</th></tr><tr><td>A 種</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>B 種</td><td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>C 種</td><td>最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td></td><td>普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類</td><td></td></tr></table> 高力ボルト接合摩擦面 ・ブラスト処理 ・( ) (7. 12. 5)	垂鉛めっき種別	材 料	適用部位	A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類		B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類		C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類			普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類																						
垂鉛めっき種別	材 料	適用部位																																			
A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類																																				
B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類																																				
C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類																																				
	普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類																																				
8 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 工 事	1. 補 強 コンクリート フ ロ ッ ク 造	ブロックの種類 ( ) (8. 2. 2) モジュール呼び寸法 長さ( ) 高さ( ) 正味厚さ ( ) 各部の配筋 ※図示による 目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ (8. 2. 5) (8. 2. 7)	13 屋 根 及 び と い 工 事	1. 共 通 事 項	※ 公共建築木造工事標準仕様書(令和7年版)5章の規定による。 ※ 建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物 木構仕(5. 1. 1) 部材寸法、その他 木構仕(5. 2. 2) 柱 : ( 120*120 ) @ 950 間柱 : ( 120*60 ) @ 455 胴縁 : ( 13*45 ) @ 455 木摺 : ( 13*75 ) @ 455 天井 吊木受 : ( 45*120～150 ) @ 950 吊木 : ( 45*45 ) @ 950 野縁受 : ( 45*45 ) @ 950 野縁 : ( 45*45 ) @ 455 ※但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。 構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 ※ 木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 ( ※図示 ・( ) ) ※ 木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト ( ※図示 ・( ) ) ・ せん断力を受けるボルト ( ※図示 ・( ) ) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木構仕5章各節の規定による。 ・( ) ※ 構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。																																
	2. コンクリートブロック 帳 壁 及 び 堀	ブロックの種類 ※表8. 3. 1 壁鉄筋の継手( ) 定着( ) 末端部折り曲げ形状( ) 配筋 縦 筋 横 筋 開口補強筋(縦横) 端部補強筋 D10～400@ D10～400@ 1～D13 1～D13 (8. 3. 2) (8. 3. 4)																																			
	3. A L C パネル	区分( )単位荷重( )厚さ( )幅( )長さ( )耐火性能( ) (8. 4. 2) 耐火目地材 ・図示による ・( ) 外壁パネル構成 構成の種類:( ・A種 ・B種) 目地幅( ) (8. 4. 3) 耐風圧性能( )耐震性能( )																																			
9 防 水 工 事	4. 押出成形セメント板	種類( )形状( )厚さ( )幅( ) (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種類:( ・A種 ・B種) 目地幅( ) (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種類:( ・B種 ・C種) (8. 5. 4)																																			
	1. 合成高分子系 ルーフィングシート防水	工 程 種 別 適用箇所 仕 上 げ 塗 料 塗 り 厚 さ ・ S-F1 ・ カラー ・ シルバー ※1.2mm ・ ・ S-F2 ※1.5mm ・ ・ S-M1 ・ カラー ・ シルバー ※1.5mm ・ ・ S-M2 ※1.5mm ・ 機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること 可塑性移行防止用シート ※発泡ポリエチレンシート ・( ) (9. 4. 4)																																			
	2. 塗 膜 防 水	ウレタンゴム系塗膜防水 (9. 5. 3)(表9. 5. 1～2) <table><tr><th>工 程 種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ X-1 (絶縁工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr><tr><td>・ X-2 (密着工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr></table> ゴムアスファルト系塗膜防水 工 程 種 別 施 工 箇 所 備 考 ・ Y-1 地下外壁 ・ Y-2 屋内 保護層 ・適用する ・適用しない	工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考	・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根		・ X-2 (密着工法)	※ 屋根																											
工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考																																			
・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根																																				
・ X-2 (密着工法)	※ 屋根																																				
10 石 工 事	3. シ ー リ ン グ	シーリングの種類は、表9. 7. 1による 目地寸法 ※9. 7. 3(1)(ア～ウ) ・( ) (9. 7. 2)(表9. 7. 1) (9. 7. 3) 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (9. 7. 5)																																			
	4. 屋根コンクリート防水	屋上等の活性進化防水剤入りコンクリートタンピング金こて押え(防水剤は6章 コンクリート工事による) (9. 7. 2)(表9. 7. 1) (9. 7. 3) (9. 7. 5)																																			
	5. 保証書及び期間	防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。																																			
10 石 工 事	1. 共 通 事 項	石の割付け ・( ) ・図示による (10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げの場合 ・監督員と協議 ・図示による ワックスの使用 ・使用する ・使用しない (10. 1. 5) 2. 材 料 テラゾ 種類及び大きさ ※大理石(1.5～12mm) ・( ) テラゾブロック 形状 ・平物 ・役物 仕上げ面 ・片面 ・両面 寸法 ( 図示による ) 表面仕上げ ・粗磨き ・水磨き ・本磨き (10. 2. 1)																																			
	2. 材 料	テラゾ 種類及び大きさ ※大理石(1.5～12mm) ・( ) テラゾブロック 形状 ・平物 ・役物 仕上げ面 ・片面 ・両面 寸法 ( 図示による ) 表面仕上げ ・粗磨き ・水磨き ・本磨き (10. 2. 1)																																			
	3. シ ー リ ン グ	シーリングの種類は、表9. 7. 1による 目地寸法 ※9. 7. 3(1)(ア～ウ) ・( ) 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (9. 7. 2)(表9. 7. 1) (9. 7. 3) (9. 7. 5)																																			
10 石 工 事	4. 屋根コンクリート防水	屋上等の活性進化防水剤入りコンクリートタンピング金こて押え(防水剤は6章 コンクリート工事による) (9. 7. 2)(表9. 7. 1) (9. 7. 3) (9. 7. 5)																																			
	5. 保証書及び期間	防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。																																			
	1. 共 通 事 項	石の割付け ・( ) ・図示による (10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げの場合 ・監督員と協議 ・図示による ワックスの使用 ・使用する ・使用しない (10. 1. 5) 2. 材 料 テラゾ 種類及び大きさ ※大理石(1.5～12mm) ・( ) テラゾブロック 形状 ・平物 ・役物 仕上げ面 ・片面 ・両面 寸法 ( 図示による ) 表面仕上げ ・粗磨き ・水磨き ・本磨き (10. 2. 1)																																			
10 石 工 事	2. 材 料	テラゾ 種類及び大きさ ※大理石(1.5～12mm) ・( ) テラゾブロック 形状 ・平物 ・役物 仕上げ面 ・片面 ・両面 寸法 ( 図示による ) 表面仕上げ ・粗磨き ・水磨き ・本磨き (10. 2. 1)																																			
	3. シ ー リ ン グ	シーリングの種類は、表9. 7. 1による 目地寸法 ※9. 7. 3(1)(ア～ウ) ・( ) 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (9. 7. 2)(表9. 7. 1) (9. 7. 3) (9. 7. 5)																																			

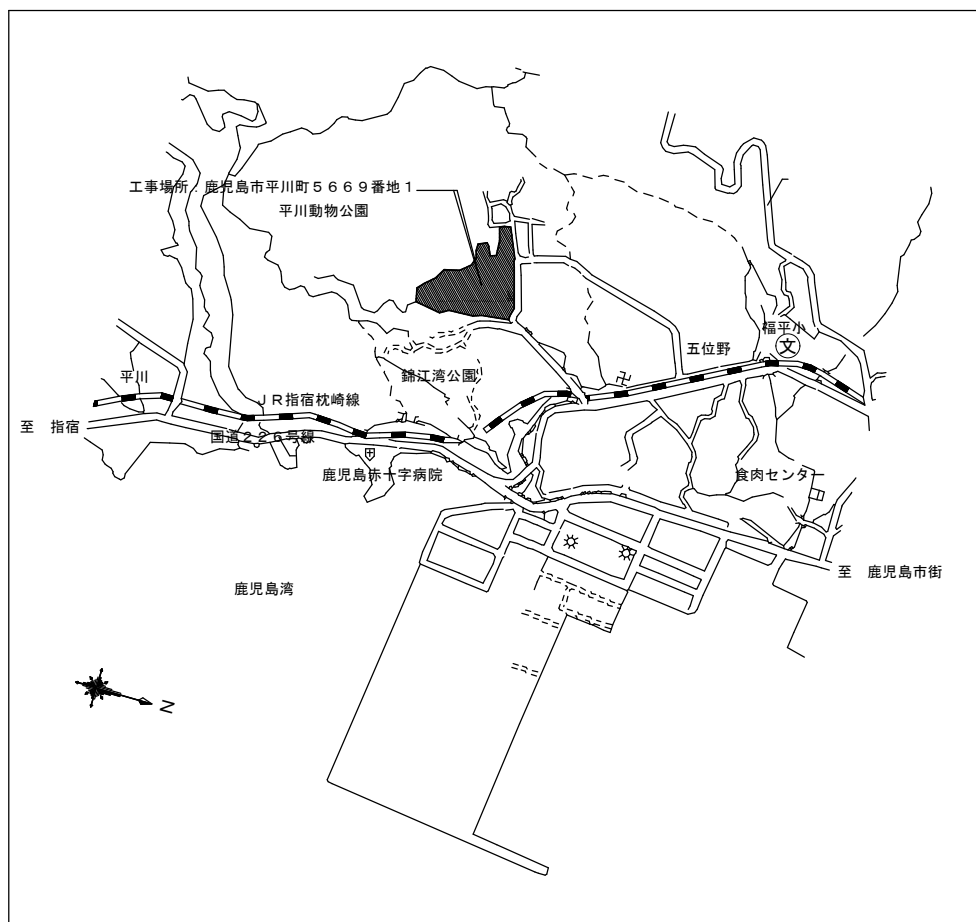
株式会社米倉設計事務所 一級建築士 第 137511 号 米倉 真一	平川動物公園フライングケージ改修工事	
	建築工事特記仕様書 4ー3	Aー04
	鹿児島市建設局建築部建築課	

Ver.R8401

章適用項目特記事項			章適用項目特記事項			章適用項目特記事項			
14 金属 工事	○ 1. 一般事項	あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・ 実施する (○) 実施しない (○) (14. 1. 3)	2. 鋼製建具	種別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	(16. 4. 2,4,5)(表16. 4. 1,2)	○ 耐候性塗料塗り(DP) ○鉄鋼面上塗り塗料の等級 (○) 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 2)(表18. 7. 1) ・ 亜鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 3)(表18. 7. 2) ・ コンクリート面・押出成形セメント板面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 4)(表18. 7. 3) ・ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) (18. 8. 2～5)(表18. 8. 1～4) ・ 塗り種別(下地:コンクリート、押出成形セメント板、モルタル、プaster、せつこうボード) ・ A種 ※B種 ・ 塗り種別(下地:鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面) ・ A種 ※B種 ・ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) 塗り種別 ・ A種 ※B種 (18. 9. 2)(表18. 9. 1) ・ ウレタン樹脂フニス塗り(UC) 木部塗り種別 ・ A種 ※B種 (18. 10. 2)(表18. 10. 1) ・ 木材保護塗料塗り(WP) 塗り別 ・ A種 ※B種 (18. 12. 2)(表18. 12. 1) ・ その他 材料( ) (18. 12. 2)(表18. 12. 1)	
	2. 表面処理	・ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1) 種類 施工箇所 ・ AB-1種(無着色) ・ AB-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) ・ AC-1種(無着色) ・ AC-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) ・ BA-1種(無着色) ・ BA-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) ※BB-1種(無着色) アルミ建具 ・ BB-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) ・ BC-1種(無着色) ・ BC-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) ・ C種 陽極酸化皮膜着色方法 ※ 二次電解着色 (色合: ) ・ ( ) ・ 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2～4) 表面処理方法 種類 施工箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 電気亜鉛めっき ・ E種 ・ F種		3. ステンレス製建具	材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ ( ) (16. 6. 3) 表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ ( ) (16. 6. 4) 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5) 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 ) 建具材の含水率 ※ A種 ・ B種 (16. 7. 2)(表16. 7. 1) かまち戸の樹種 かまち ( ) 鏡板 ( ) ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙 枠 ・ 木製枠 ・ 鋼製枠 ( ) くつずり ・ ステンレス製(HL仕上げ) ( ) フラッシュ戸 表面板の厚さ ※ 表16.7.6 ・ ( ) (16. 7. 3) 見込み寸法 かまち戸( ※ 36mm ・ ) ふすま戸( ※ 19.5 ・ 21 ・ 18 ) (16. 7. 3) 戸ふすま( ※ 30mm ・ ) 紙張り戸子( ※ 30mm ・ )	19 内装 工事	1. ビニル床シート、 ビニル床タイル及び ゴム床タイル張り		接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン 不検出のもので、水性形のものとする。 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。(19. 2. 2)
	3. 軽量鉄骨天井 下地	野縁等の種類 屋内 ※ 19形 ・ 25形 (14. 4. 2)(表14. 4. 1) 屋外 ・ 19形 ※ 25形 ・ 野縁受、吊ボルト及びインサート間隔(屋外) ( ) (14. 4. 3)(表14. 4. 2) ・ 野縁の間隔(屋外) ( ) ・ ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※ 図示による ・ ( ) (14. 4. 4) ・ 天井ふところが3.0m以上の補強方法 ※ 図示による ・ ( ) ・ 耐震性を考慮した補強 ※ 図示による ・ ( ) ・ 屋外の軒・庇ロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※ 図示による ・ ( )		4. 木製建具	製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 ) 材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ ( ) (16. 6. 3) 表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ ( ) (16. 6. 4) 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5) 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 ) 建具材の含水率 ※ A種 ・ B種 (16. 7. 2)(表16. 7. 1) かまち戸の樹種 かまち ( ) 鏡板 ( ) ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙 枠 ・ 木製枠 ・ 鋼製枠 ( ) くつずり ・ ステンレス製(HL仕上げ) ( ) フラッシュ戸 表面板の厚さ ※ 表16.7.6 ・ ( ) (16. 7. 3) 見込み寸法 かまち戸( ※ 36mm ・ ) ふすま戸( ※ 19.5 ・ 21 ・ 18 ) (16. 7. 3) 戸ふすま( ※ 30mm ・ ) 紙張り戸子( ※ 30mm ・ )	5. 建具用金物	※ 建具製作所の仕様による ・ 図示による (16. 8. 1,2,3)(表16. 8. 1) マスターキー ※ 製作する ・ 製作しない (16. 8. 4) 鍵箱 ※ 必要 ( 組用) ・ 不要 (16. 11. 2～5)		2. カーベット敷き
5. 金属成形板張り	(14. 6. 2)(14. 6. 3) 形状 製法 材種 寸法(mm) 厚さ(mm) 表面処理 (14.2.1～3、表14.2.1～2 による) ・ スパンドレル形 ・ 押出し ※ アルミニウム製 ・ ローレル ・ パネル形 ※ プレス 伸縮調整継手 ※ 設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)	6. アルミニウム製 笠木	アルミニウム製建具 ※ シーリング(SR-1) ※ ガセット(グレイジングチャンネル形)(意に適用) 鋼製・ステンレス製建具 ※ シーリング(SR-1) 木製建具 ※ シーリング(SR-1) JIS A 212(ガラスブロック(中空)) 表面形状( ) 呼び寸法( ) 厚さ( ) 壁用金属枠及び補強材 ( ) 力骨 材質 寸法 形状 ※ ステンレス鋼(SUS304) ※ 径5.5mm ※ はしご形状腹筋及び単筋 ・ シーリング材 ( ) 金属製化粧カバー 材質( ) 寸法( ) 形状( ) ガラスブロックの目地幅の寸法 平積み ※ 8～15mm ・ ( ) 曲面積み ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・ ( ) 伸縮調整目地位置 ※ 6mm以下 ・ ( ) 目地部の力骨の補強方法 ※ 製造所の仕様 ・ ( )	7. 軽量シャッター	開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) (16. 12. 2) 耐風圧性能 ・ 50 ・ 65 ・ 80 ・ スラットの材質 ※ 塗装亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 ・ ( ) (16. 12. 3) スラットの形状 ※ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 (16. 12. 4)	3. 合成樹脂塗床	(19. 4. 2～3)(表19. 4. 4～8) 材料 種類 仕上げる種類 ・ 弾性外装樹脂系塗床材 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ ・ 厚膜型塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜流しのペエ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 ) ・ 薄膜型塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 樹脂モルタル工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 ) ・ 平滑仕上げ		
15 左官 工事	1. モルタル塗り	材料 ・ 現場調査材料 ・ 既調査材料(JIS A 6916) (15. 3. 2) モルタル ・ 防水モルタルの防水剤 製造所( 監督員の承諾を得るものとする。 ) ・既製目地材 形状( )	8. ガラス	JIS規格品 (16. 14. 2) ※ 材料、厚みは図示による	9. ガラス留め材	アルミニウム製建具 ※ シーリング(SR-1) (16. 14. 2,3) 鋼製・ステンレス製建具 ※ シーリング(SR-1) (表 9. 7. 1) 木製建具 ※ シーリング(SR-1)	4. フローリング張り	(19. 5. 2～7)(表19. 5. 1～5) 工法 フローリング種類 寸法等 樹種 ※ 釘留め工法(接着剤併用) ※ 根太張り工法 単層 ※ フローリングボード 表19. 5. 1 ・ なら 複合 ・ A種 ・ B種 表19. 5. 2 ・ さくら ※ C種 ・ 直張り工法 単層 ※ フローリングボード 表19. 5. 3 ・ なら 複合 ・ A種 ・ B種 表19. 5. 4 ・ さくら ・ C種 ・ フローリングブロック ※ 図示による ・ 接着工法 単層 ・ フローリングボード 表19. 5. 5 ・ なら 複合 ・ A種 ・ B種 表19. 5. 6 ・ さくら ・ C種	
	2. 仕上塗材仕上げ	材料 (15. 6. 2)(表15. 6. 1～2) JIS A 6909(建築用仕上塗材) 種類 呼び名 仕上げ形状等 ・ 薄付け仕上塗材 ※ 外装薄塗材E ・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 複層仕上塗材 ※ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E 耐候性 ※ 耐候形3種 溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※ アクリル系 外観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック	10. ガラスブロック積み	表面形状( ) 呼び寸法( ) 厚さ( ) 壁用金属枠及び補強材 ( ) 力骨 材質 寸法 形状 ※ ステンレス鋼(SUS304) ※ 径5.5mm ※ はしご形状腹筋及び単筋 ・ シーリング材 ( ) 金属製化粧カバー 材質( ) 寸法( ) 形状( ) ガラスブロックの目地幅の寸法 平積み ※ 8～15mm ・ ( ) 曲面積み ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・ ( ) 伸縮調整目地位置 ※ 6mm以下 ・ ( ) 目地部の力骨の補強方法 ※ 製造所の仕様 ・ ( )	18 塗装 工事	○ 1. 材料 ※ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。 ○ 2. 素地ごしらえ ・ 木部 不透明塗料塗り ( ※ A種 ・ B種 ) (18. 2. 2)(表18. 2. 1) 透明塗料塗り ( ・ A種 ※ B種 ) ○ 鉄鋼面 ( ・ A種 ○ B種 ※ C種 ) (18. 2. 3)(表18. 2. 2) (耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする) ・ 亜鉛めっき鋼面 ( ・ A種 ・ B種 ) (18. 2. 4)(表18. 2. 3) ・ モルタル及びせつこうプaster一面 ( ・ A種 ※ B種 ) (18. 2. 5)(表18. 2. 4) ・ コンクリート及びびALCパネル及び押出成形セメント板面 ( ・ A種 ※ B種 ) (18. 2. 6)(表18. 2. 5) (押出成形セメント板面及び耐候性塗料塗り(DP)については、表18. 2. 6による) (表18. 2. 6) ・ せつこうボード及びその他ボード面 ( ・ A種 ※ B種 ) (18. 2. 7)(表18. 2. 7)	○ 3. 塗料塗り	○ 錆止め塗料塗り (18. 3. 2～3)(表18. 3. 1～6) 下地 塗料種別 塗り種別 鉄鋼面 錆止め塗装のまま ※ As種 見え掛け部分 ※ A種 ・ B種 SOP ※ As種 見え隠れ部分 ・ A種 ※ B種 EP-G ・ A種 ※ Bs種 DP 1回目 ※ Cs種 表18. 3. 4 2・3回目 ※ Ds種 垂鉛めっき鋼面 SOP ※ Az種 ・ Bz種 鋼製建具 ※ A種 ・ B種 EP-G ※ Cz種 その他 ・ A種 ※ B種 DP ※ Bz種 表18. 3. 6 ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料種類 ※ 1種 ・ 2種 (18. 4. 2) 木部塗り種別 ※ A種 ・ B種 (18. 4. 3) (屋外) ※ A種 ※ B種 (多孔質広葉樹の場合を除く) 鉄鋼面塗り種別 ・ A種 ※ B種 (18. 4. 4) ・ クリヤラッカー塗り(CL) (18. 5. 2)(表18. 5. 1) 塗り種別 ・ A種 ※ B種 ・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) (18. 6. 2)(表18. 6. 1) 塗り種別 ・ A種 ※ B種	
16 建具 工事	1. アルミニウム製 建具	(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1,2) 種類 外部に面する建具 内部建具 枠見込み(mm) ※ 普通ドア ※ コンクリート系、セッ、サッシ 接着下地 ・ 木下地 ・ 防音ドアセット 遮音性の等級( ) ・ 断熱ドアセット 断熱性の等級( ) ・ 耐震ドアセット 面内変形追従性の等級( ) 表面処理(表14.2.11による) ※ BB-1種 ・ ※ AC-1種 ・ 網戸防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3) 結露水 ※ 屋外排出 くつずり仕上 ※ HL 水切り板、ぜん板等 ※ 図示 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )	2. 鋼製建具	材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ ( ) (16. 6. 3) 表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ ( ) (16. 6. 4) 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5) 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 ) 建具材の含水率 ※ A種 ・ B種 (16. 7. 2)(表16. 7. 1) かまち戸の樹種 かまち ( ) 鏡板 ( ) ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙 枠 ・ 木製枠 ・ 鋼製枠 ( ) くつずり ・ ステンレス製(HL仕上げ) ( ) フラッシュ戸 表面板の厚さ ※ 表16.7.6 ・ ( ) (16. 7. 3) 見込み寸法 かまち戸( ※ 36mm ・ ) ふすま戸( ※ 19.5 ・ 21 ・ 18 ) (16. 7. 3) 戸ふすま( ※ 30mm ・ ) 紙張り戸子( ※ 30mm ・ )	3. ステンレス製建具	材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ ( ) (16. 6. 3) 表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ ( ) (16. 6. 4) 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5) 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 ) 建具材の含水率 ※ A種 ・ B種 (16. 7. 2)(表16. 7. 1) かまち戸の樹種 かまち ( ) 鏡板 ( ) ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙 枠 ・ 木製枠 ・ 鋼製枠 ( ) くつずり ・ ステンレス製(HL仕上げ) ( ) フラッシュ戸 表面板の厚さ ※ 表16.7.6 ・ ( ) (16. 7. 3) 見込み寸法 かまち戸( ※ 36mm ・ ) ふすま戸( ※ 19.5 ・ 21 ・ 18 ) (16. 7. 3) 戸ふすま( ※ 30mm ・ ) 紙張り戸子( ※ 30mm ・ )	5. 畳敷き	畳の種類 (和室) ・ A種 (畳表 ・ JS ・ J1 ) ・ B種 (19. 6. 2)(表19. 6. 1) ※ C種 (畳床 ※ PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30 ) ・ C種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N ) (柔道場) 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )	
株式会社米倉設計事務所 一級建築士 第 137511 号 米倉 真一			平川動物公園フライングケージ改修工事 建築工事特記仕様書 4-4 鹿児島市建設局建築部建築課			A-05			

## 工事概要

工 事 名 称	平川動物公園フライングケージ改修工事
工 事 場 所	鹿児島市平川町5 6 6 9 番地 1
工 事 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄骨補強工事</li> <li>・鉄骨塗装工事</li> <li>・防鳥ネット張替工事</li> </ul>
<p>■設計条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構 造：鉄骨造</li> <li>・面 積：1,890㎡</li> </ul> <p>■留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事工程や仮設計画については、予め鹿児島市公園公社と協議すること。</li> <li>・搬入、搬出に支障となる樹木について、剪定が必要となった場合は、監督員及び鹿児島市公園公社と協議すること。</li> </ul>	

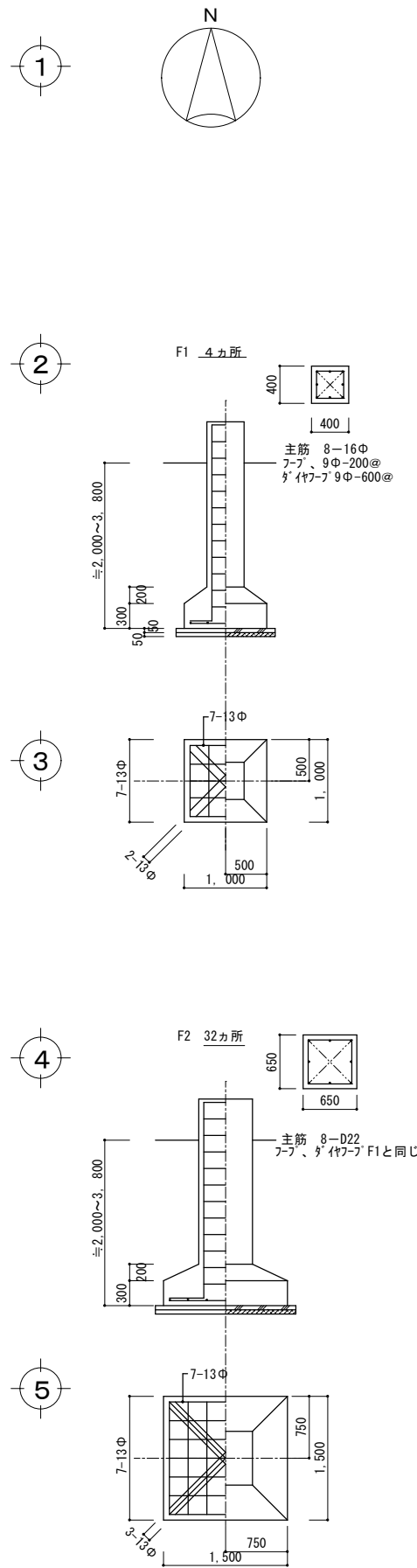
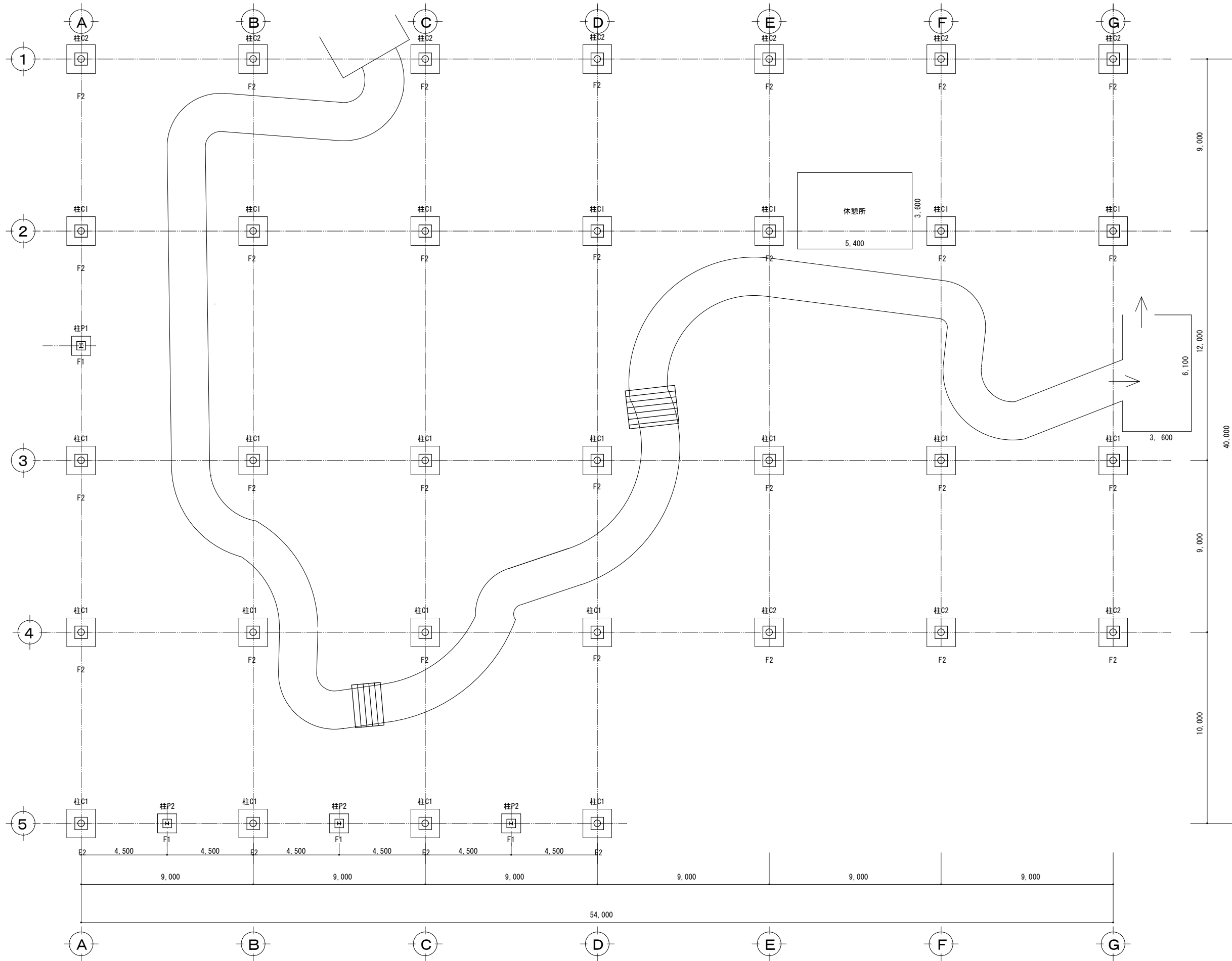


付近見取図



全体配置図

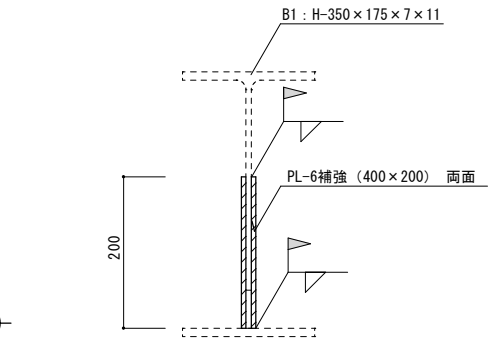
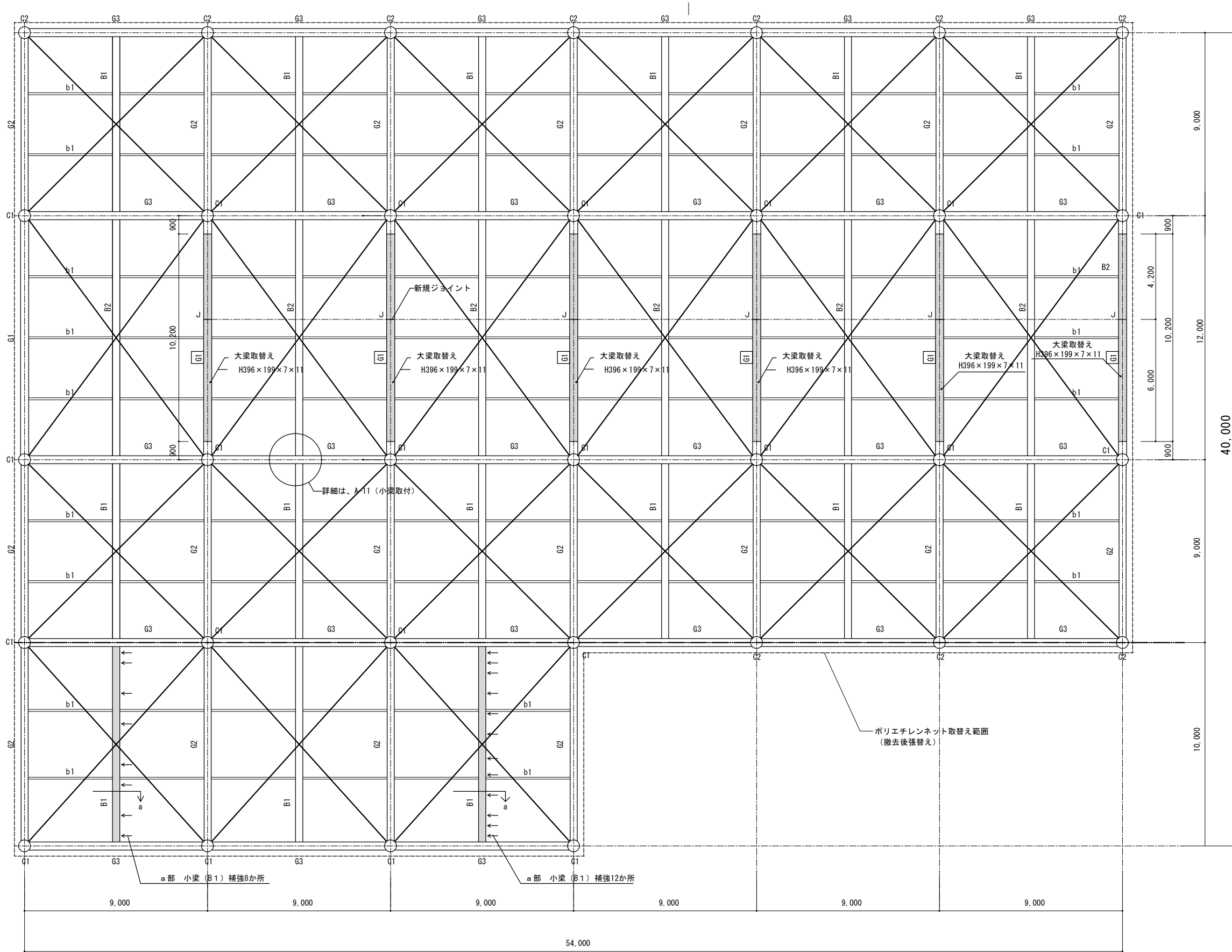
一級建築士事務所 知事登録 第1-3-22号 株式会社 米倉設計事務所 一級建築士 第137511号 米倉 眞一	平川動物公園フライングケージ改修工事		
	工事概要・付近見取図 全体配置図	A1:1/1500 A3:1/3000	A-06
	鹿児島市建設局建築部建築課		



基礎伏図

一級建築士事務所 知事登録 第1-3-22号  
株式会社 米倉設計事務所  
一級建築士 第137511号  
米倉 真一

平川動物公園フライングケージ改修工事  
基礎伏図  
A1: 1/100  
A3: 1/200  
鹿児島市建設局建築部建築課



a部 小梁(B1)補強詳細図 A1: 1/5 A3:1/10

鉄骨部材リスト

柱	C1: G-350φ×12 (Gコラム) C2: G-355.6φ×11.1 P1: H-200×200×8×12 P2: H-150×150×7×10
大梁	G1: H-396×199×7×11 G2: H-350×175×7×11 G3: H-396×199×7×11
小梁	B1: H-350×175×7×11 B2: H-396×199×7×11 b1: 2C-125×50×20×3.2
ブレース	16φ: ターンバックル締め

- G1 大梁取替え (6本)  
B1 小梁補強PL-6 20ヵ所 (40枚)

鉄骨伏図

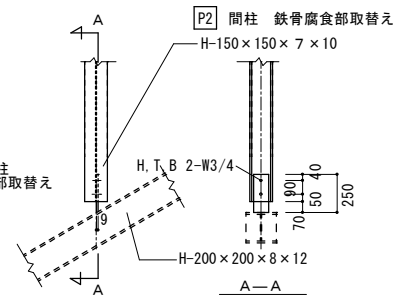
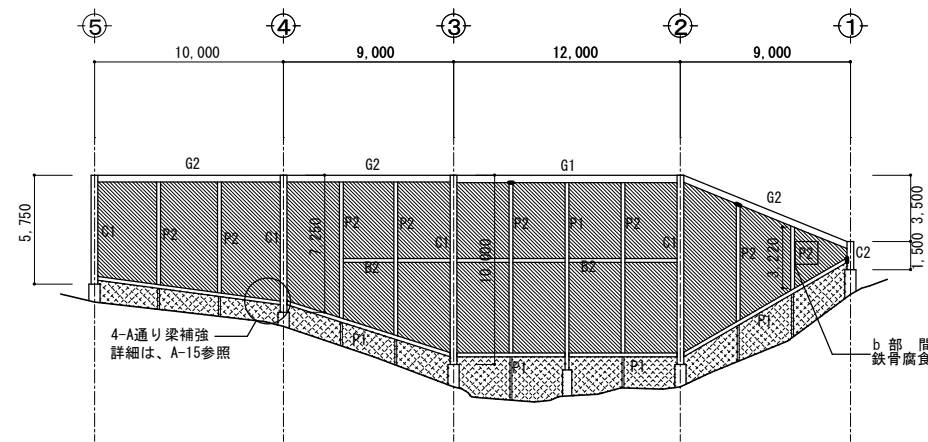
- 鉄筋と端部ロープは、1マスおきに結束を行うこと
- 張替えポリエチレンネットは、有結節網25mm目 400デニール (黒) とする
- 新設部も含め、鉄部塗装は下地調整又は素地ごしらえ後、錆止め2回塗りの上DP塗り (1級) とする。塗装範囲: 全部材
- 素地ごしらえ等の周囲へ既存塗料等の飛散の恐れがある作業時には、ブルーシート等で適切に養生すること。
- 鉄骨腐食部の改修範囲については、足場を掛けた後詳細調査を行い、監督員と協議を行なうこと。 ※ 本計画は、足場未設置の目視調査に基づいており、詳細調査後に改修範囲に変更が有る場合には、設計変更にて対応する。

一級建築士事務所 知事登録 第1-3-22号  
株式会社 米倉設計事務所  
一級建築士 第137511号  
米倉 真一

平川動物公園フライングケージ改修工事  
鉄骨伏図  
A1:1/100  
A3:1/200  
A-08  
鹿児島市建設局建築部建築課

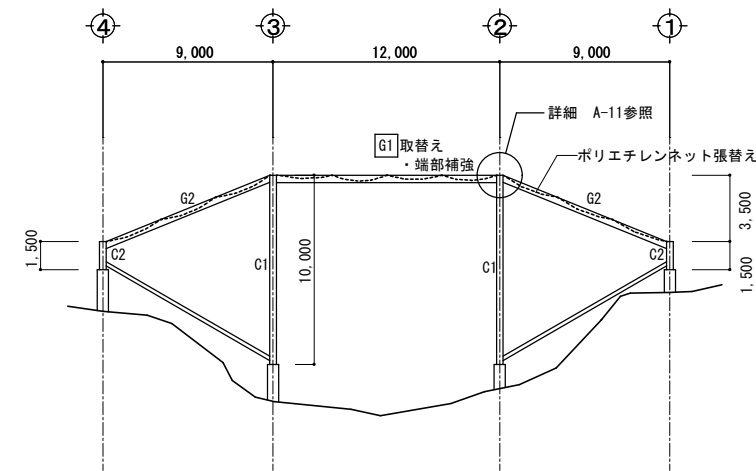


(A) 通り

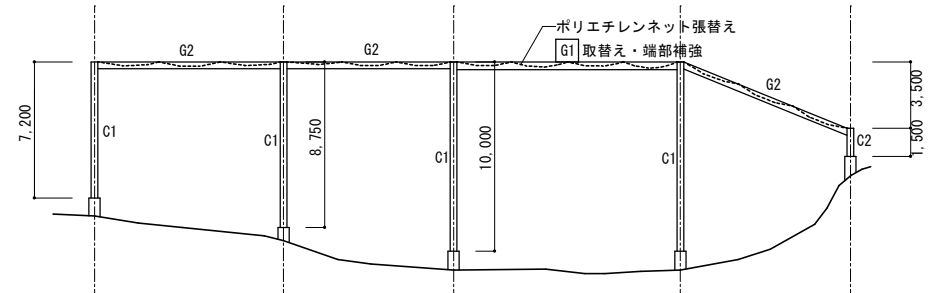


b 部 (取替え) 柱脚部詳細図  
A1 : 1/25 A3 : 1/50

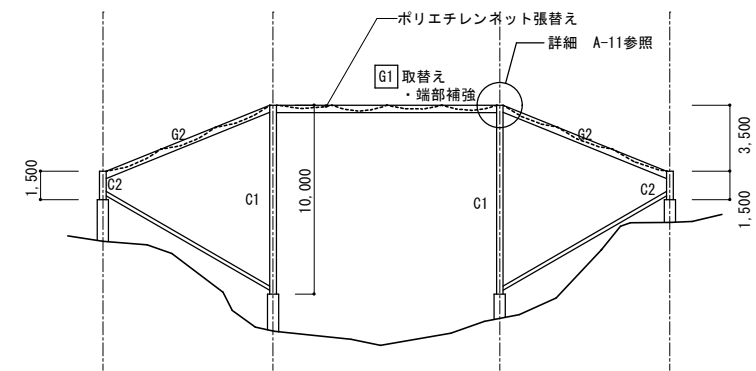
(E) 通り



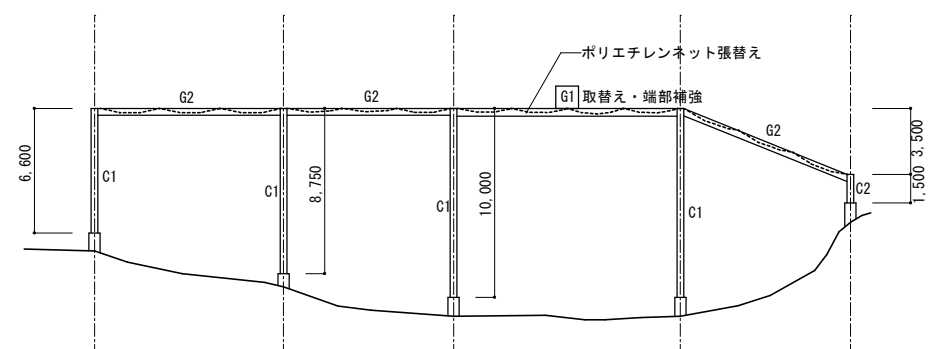
(B) 通り



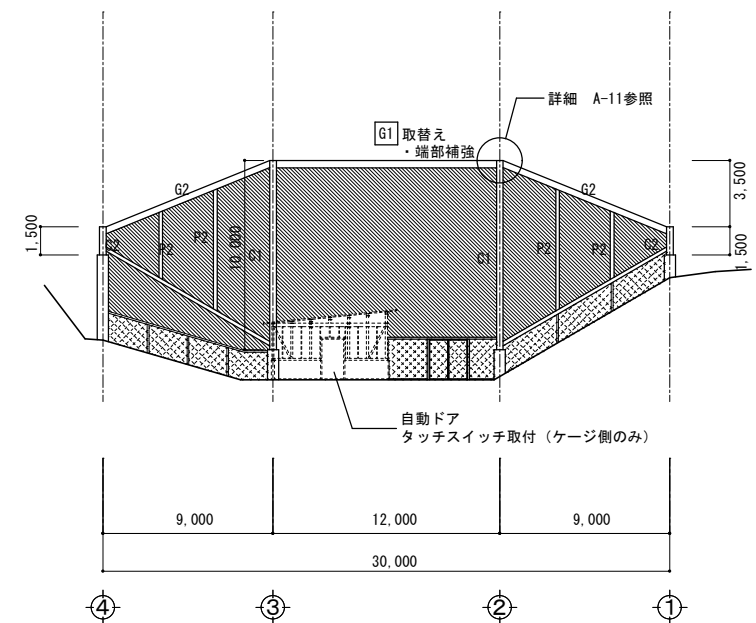
(F) 通り



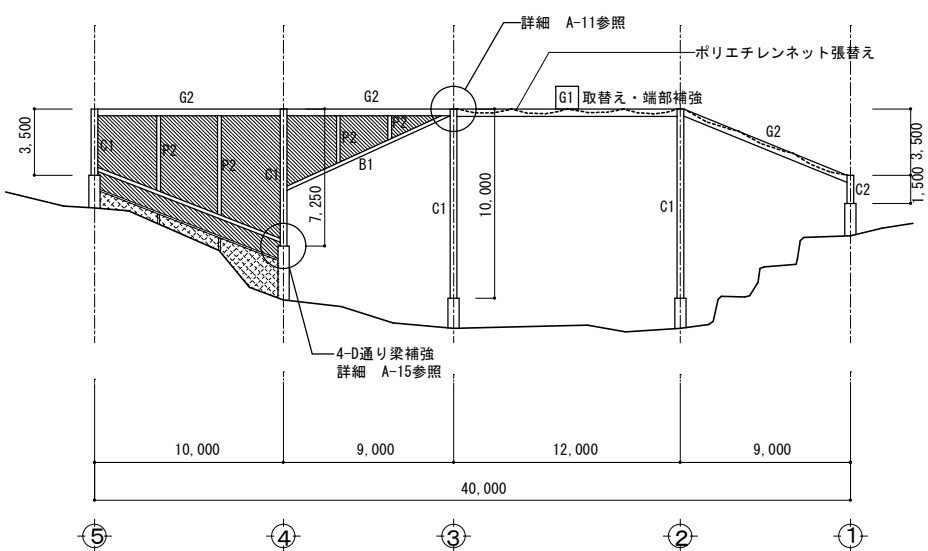
(C) 通り



(G) 通り



(D) 通り

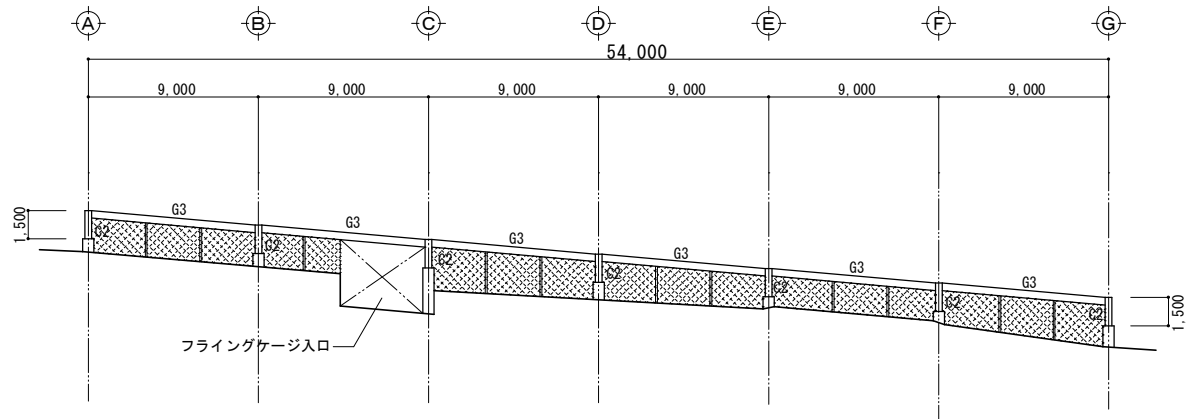


軸組図

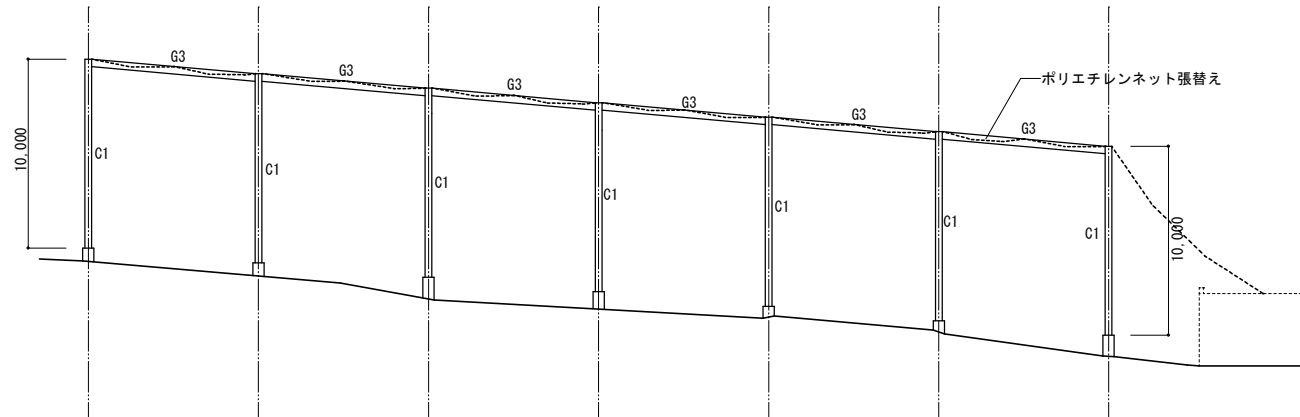
- ポリエチレンネット範囲を示す (撤去後、張替え)
- ステンレスネット範囲を示す (既存のまま)

※仕口の腐食部分は、鋼板等により補強を行うこと

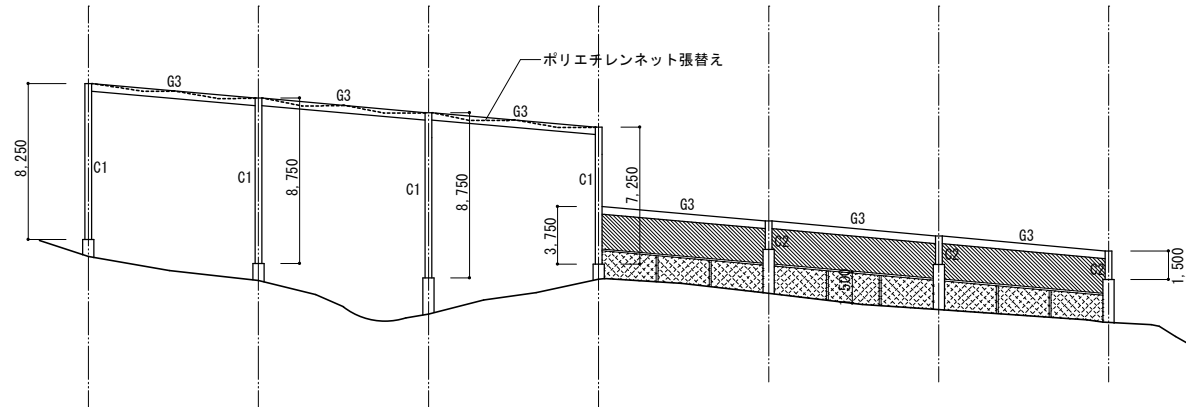
① 通り



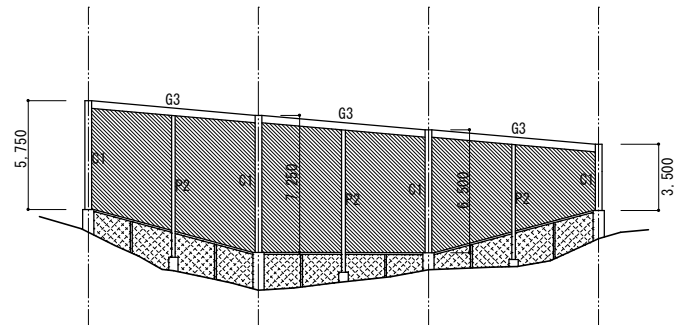
②③ 通り



④ 通り

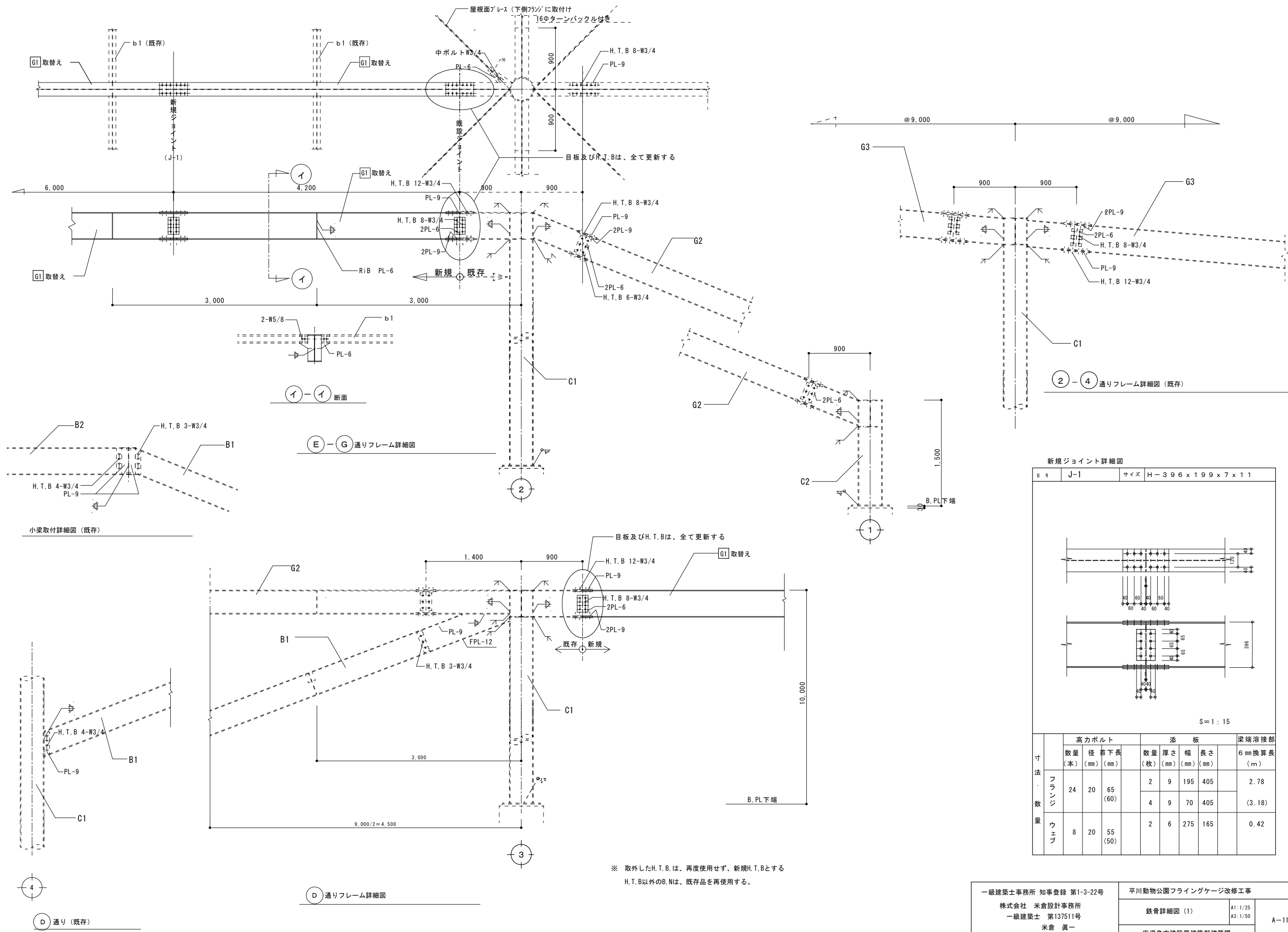


⑤ 通り



軸組図

- ：ポリエチレンネット範囲を示す（撤去後、張替え）
- ：ステンレス金網範囲を示す（既存のまま）
- ※ 仕口の腐食部分は、銅板等により補強を行うこと



新規ジョイント詳細図

図号	J-1	サイズ	H-396 x 199 x 7 x 11
----	-----	-----	----------------------

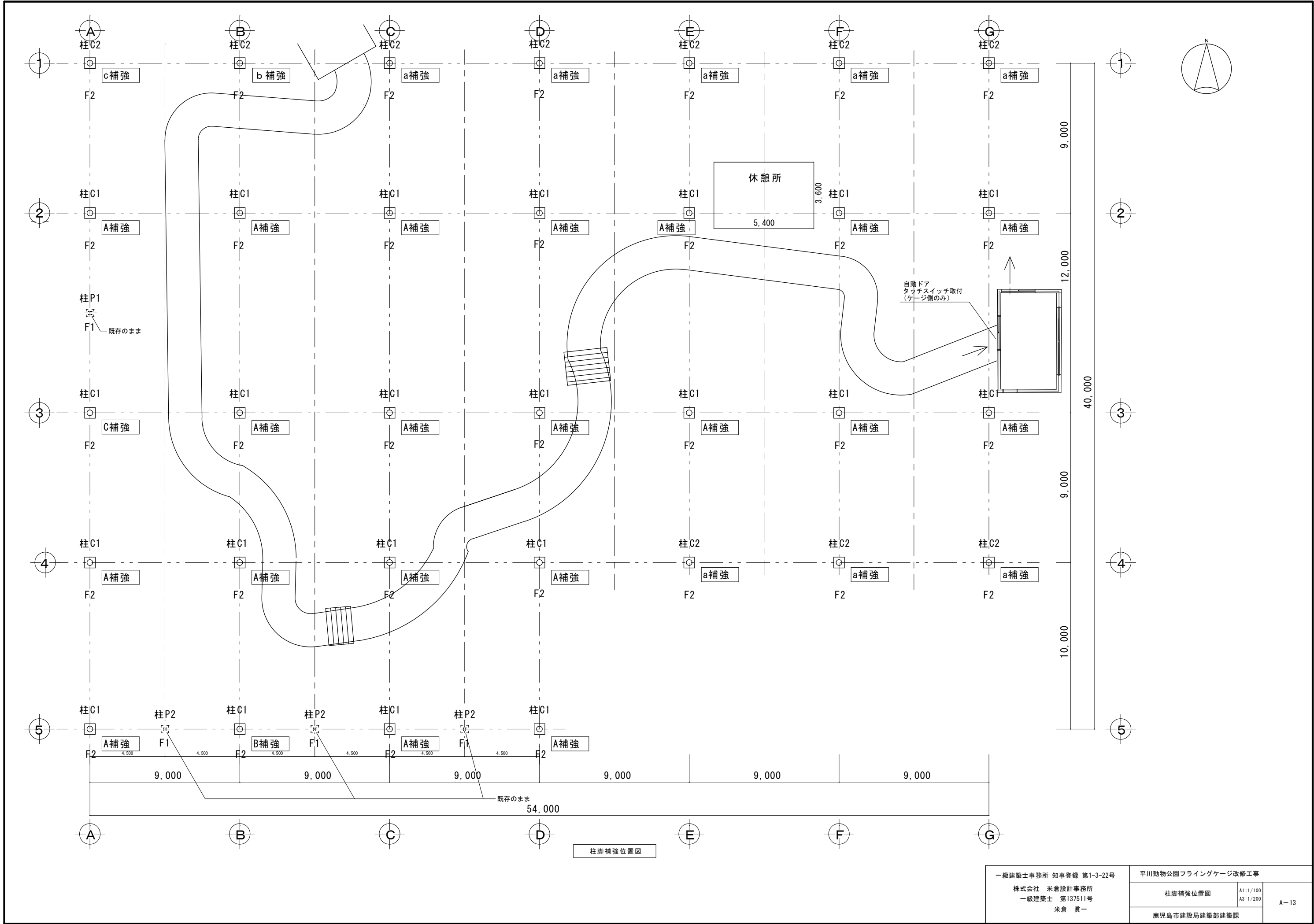
S=1:15

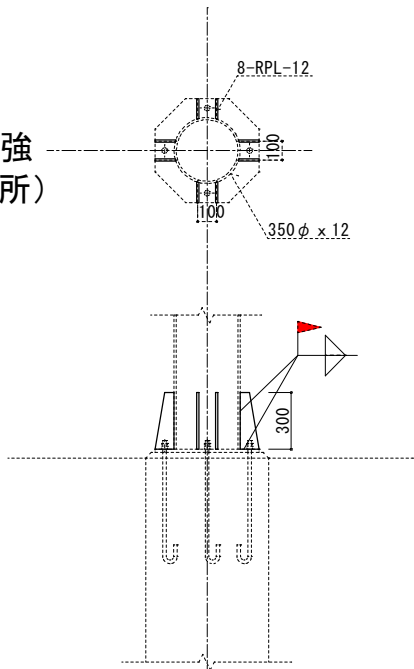
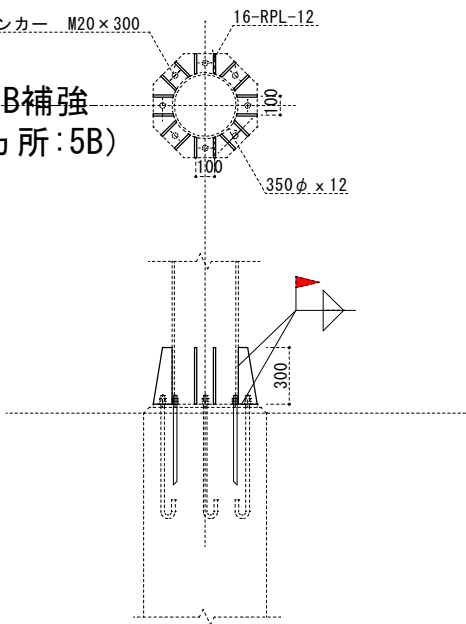
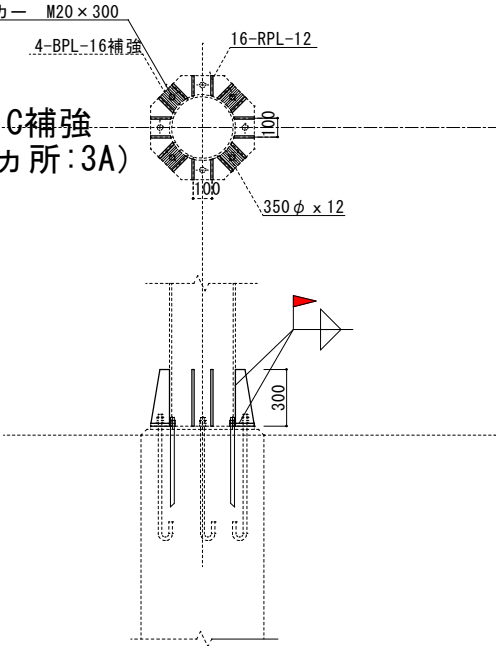
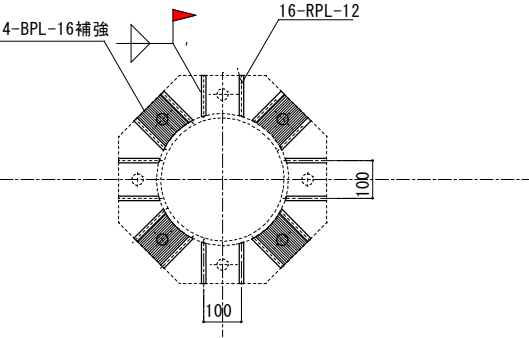
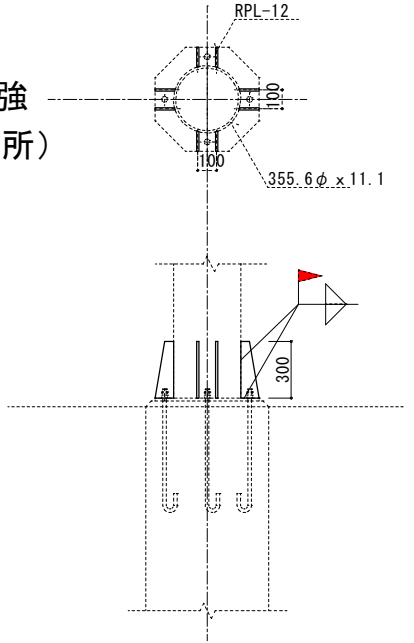
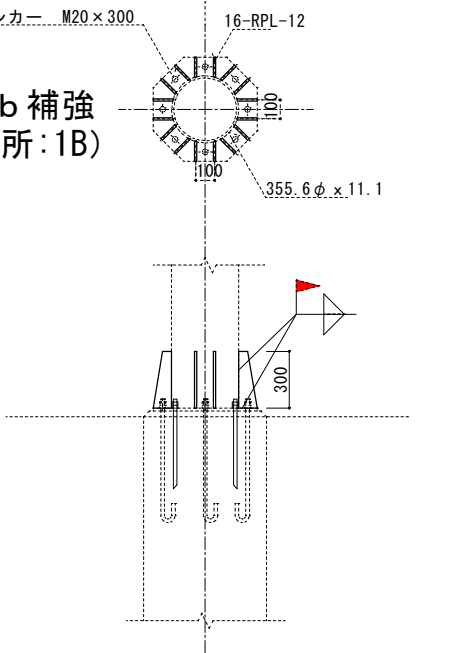
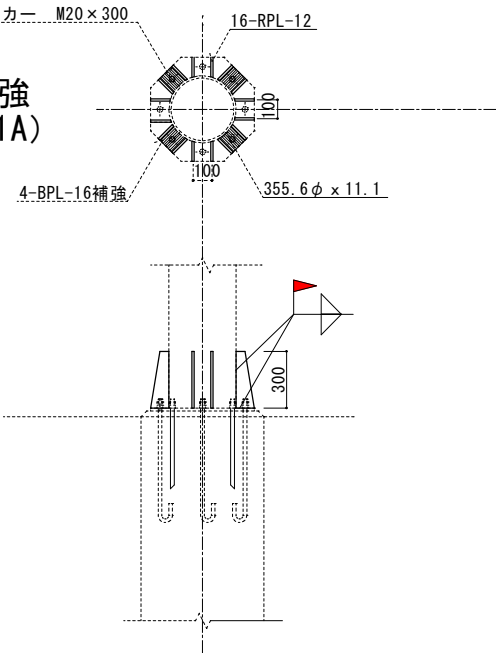
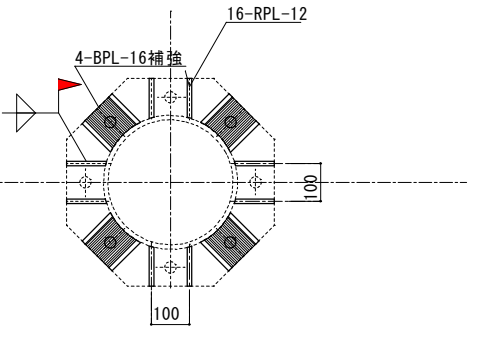
寸法・数量		高力ボルト			添板				梁端溶接部
		数量 (本)	径 (mm)	首下長 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	6mm換算長 (mm)
フランジ	24	20	65 (60)		2	9	195	405	2.78
					4	9	70	405	(3.18)
ウェブ	8	20	55 (50)		2	6	275	165	0.42

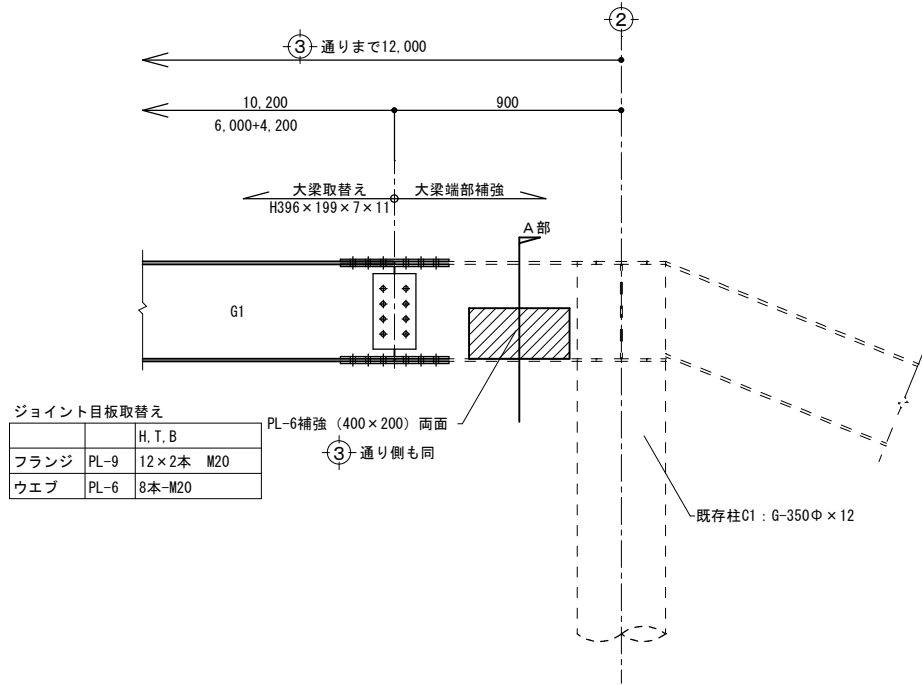
※ 取外したH, T, Bは、再度使用せず、新規H, T, Bとする  
H, T, B以外のB, Nは、既存品を再使用する。







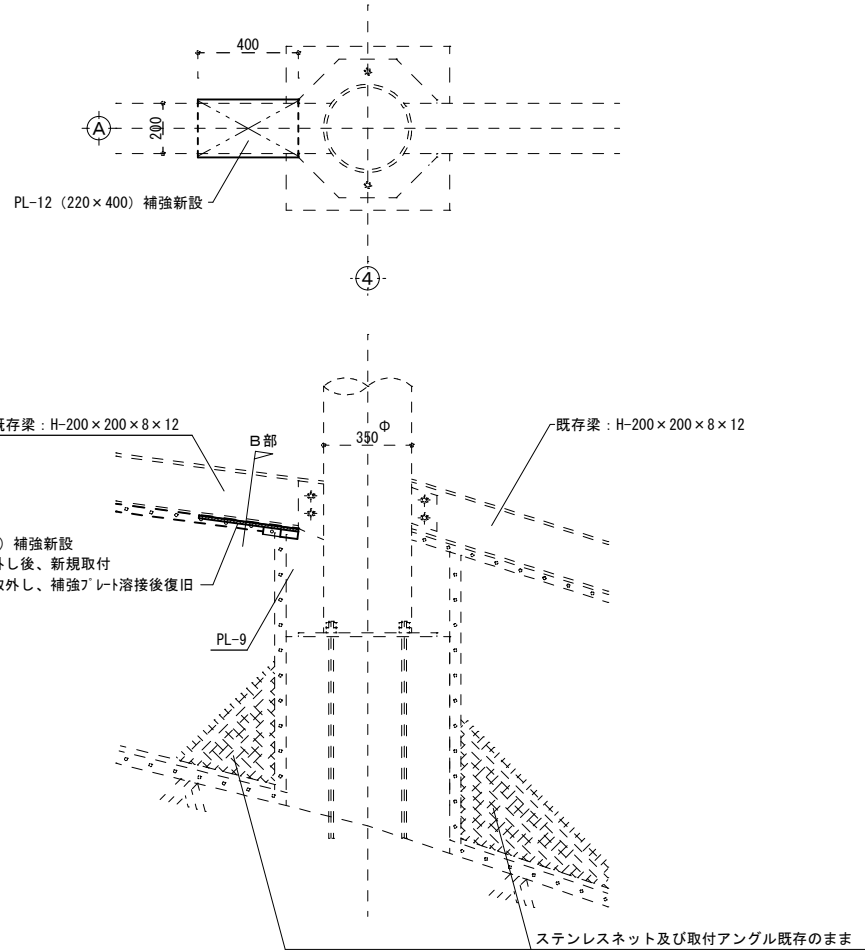
C1	<div>A補強 (20カ所)</div> 		<div>B補強 (1カ所:5B)</div> 		<div>C補強 (1カ所:3A)</div> 		<div>C補強拡大</div> <div>A1:1/10 A3:1/20</div> 	
	リブプレート	20*8=160枚	リブプレート	1*16=16枚	リブプレート	1*16=16枚		
	ケミカルアンカー	—	ケミカルアンカー	1*4=4本	ケミカルアンカー	1*4=4本		
	ベースプレート100*100	—	ベースプレート100*100	—	ベースプレート100*100	1*4=4枚		
C2	<div>a補強 (8カ所)</div> 		<div>b補強 (1カ所:1B)</div> 		<div>c補強 (1カ所:1A)</div> 		<div>c補強拡大</div> <div>A1:1/10 A3:1/20</div> 	
	リブプレート	8*8=64枚	リブプレート	1*16=16枚	リブプレート	1*16=16枚	合計	288枚
	ケミカルアンカー	—	ケミカルアンカー	1*4=4本	ケミカルアンカー	1*4=4本	合計	16本
	ベースプレート100*100	—	ベースプレート100*100	—	ベースプレート100*100	1*4=4枚	合計	8枚
※ 破線は既存 実線は新規補強							一級建築士事務所 知事登録 第1-3-22号 株式会社 米倉設計事務所 一級建築士 第137511号 米倉 真一	
							平川動物公園フライングケージ改修工事 柱脚補強詳細図 鹿児島市建設局建築部建築課	
							A1:1/20 A3:1/40	A-14



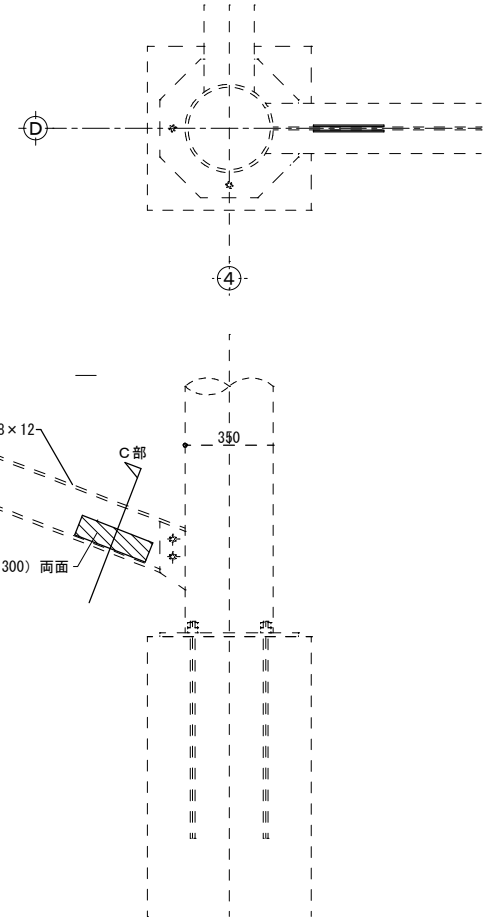
ジョイント目板取替え			H, T, B
フランジ	PL-9	12 x 2本	M20
ウェブ	PL-6	8本-M20	

大梁G1取替詳細図

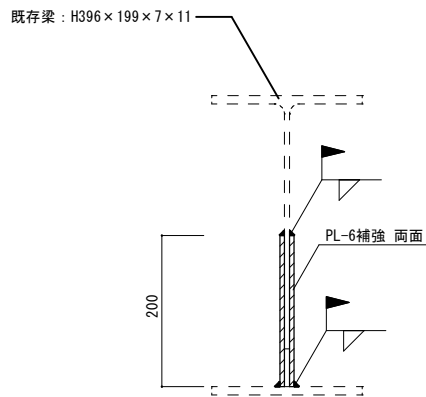
② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿



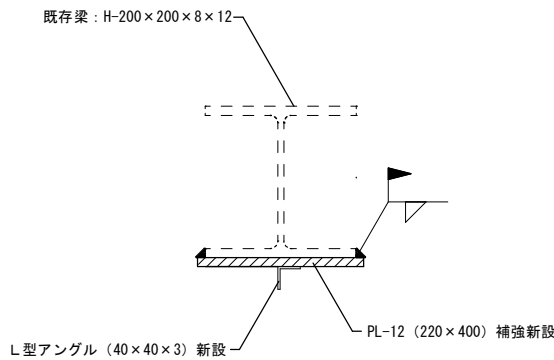
4-A通り梁補強詳細図



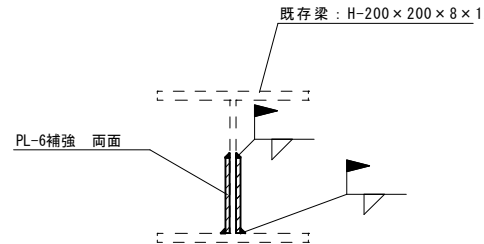
4-D通り梁補強詳細図



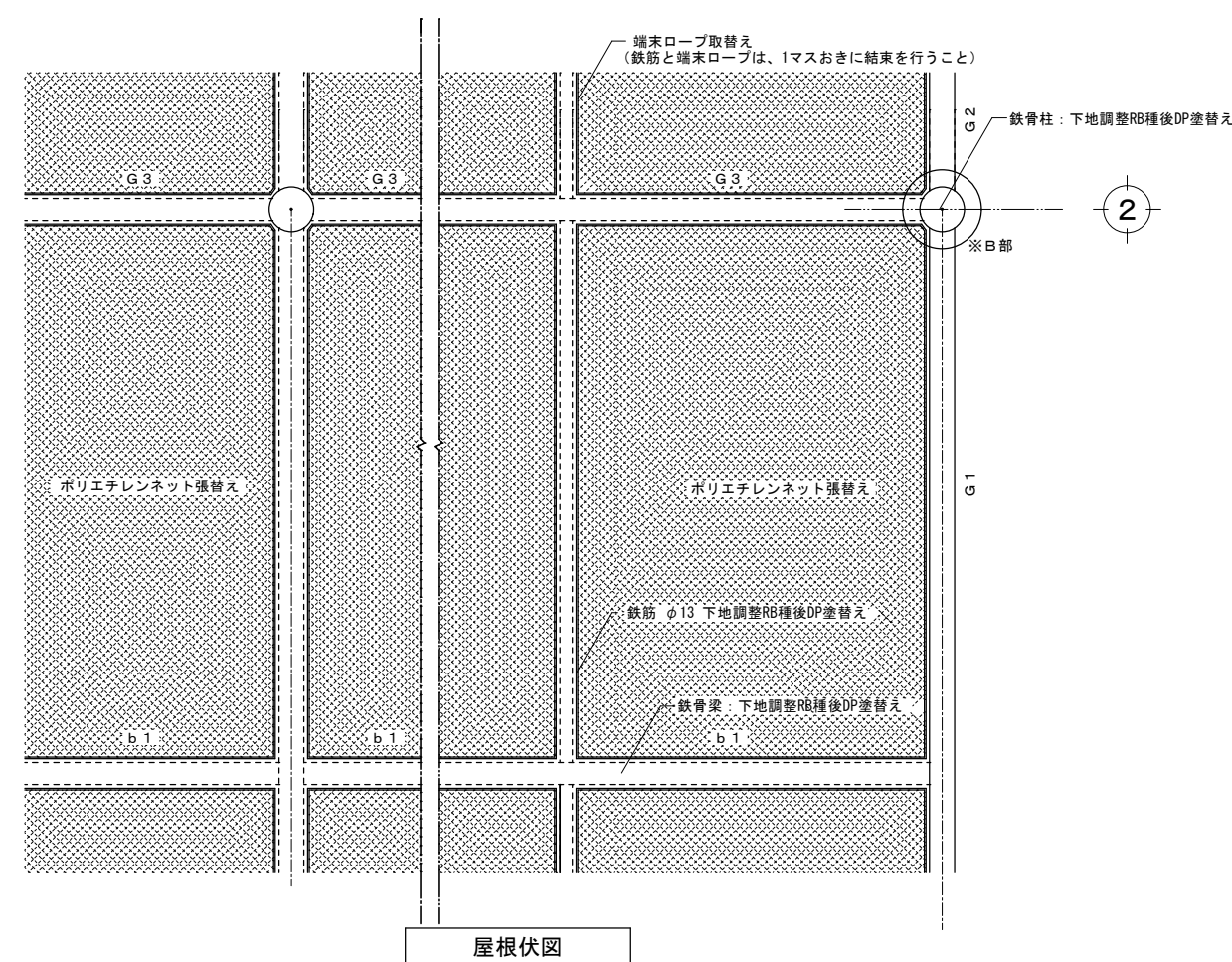
改修後A部断面詳細図 A1:1/5 A3:1/10



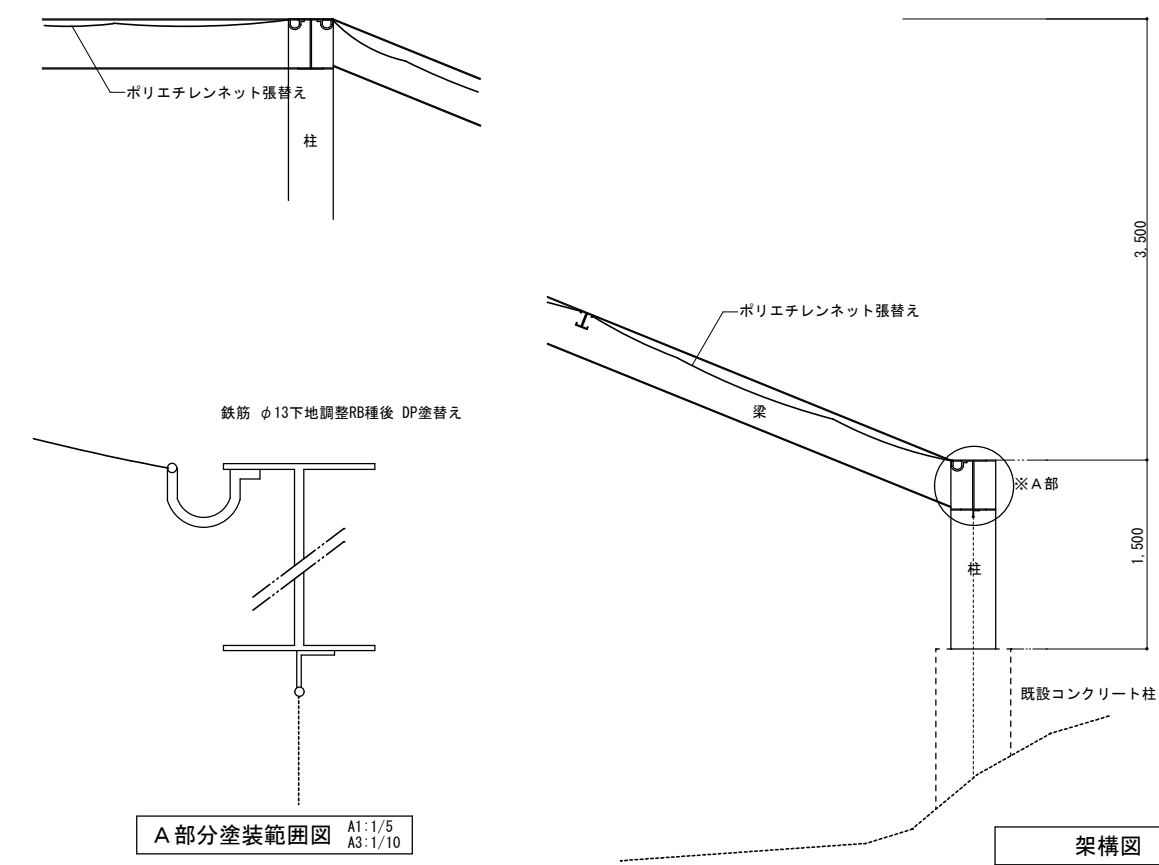
改修後B部断面詳細図 A1:1/5 A3:1/10



改修後C部断面詳細図 A1:1/5 A3:1/10

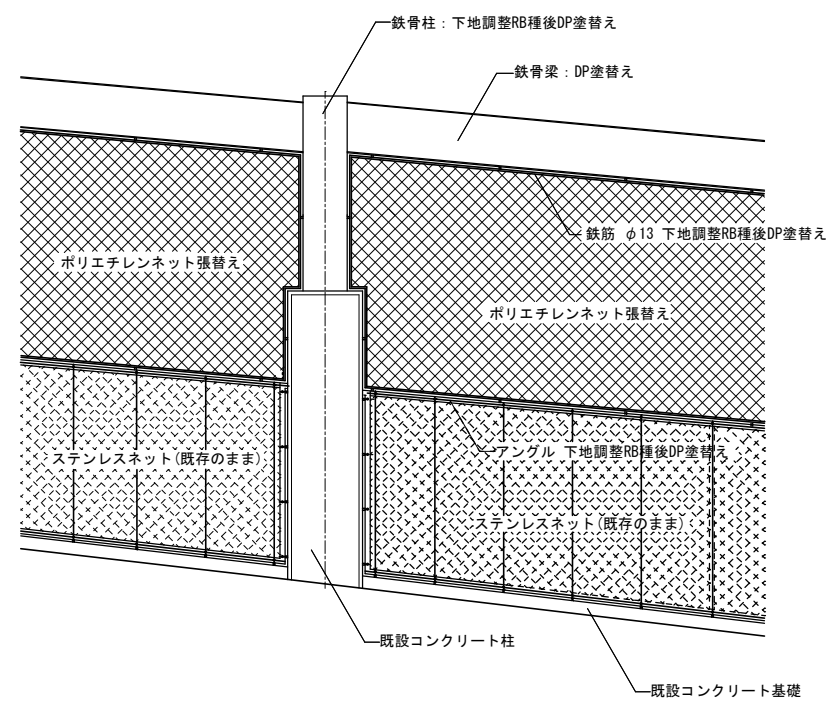


屋根伏図

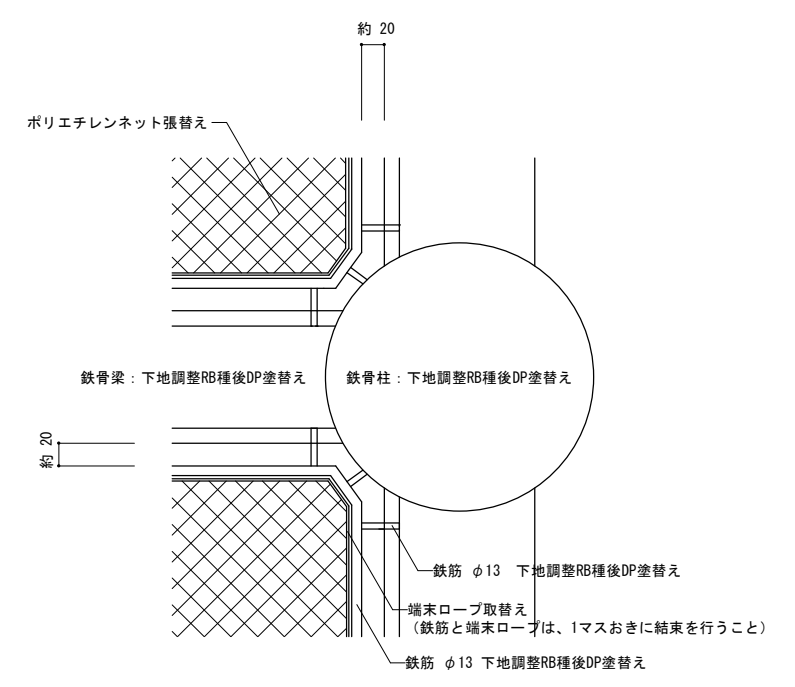


A部分塗装範囲図 A1:1/5 A3:1/10

架構図



架構図



B部分塗装範囲図 A1:1/5 A3:1/10



1. 仮設計画については、工事着工前に監督員及び鹿児島市公園公社と協議の上  
 案に十分配慮し、最終位置を決定すること
2. 重機の運搬、材料・廃材の運搬及び仮設工事時には、誘導員の配置など安全に  
 十分配慮すること。
3. 作業に支障のある樹木の剪定については、監督員及び鹿児島市公園公社と  
 協議の上決定とする。

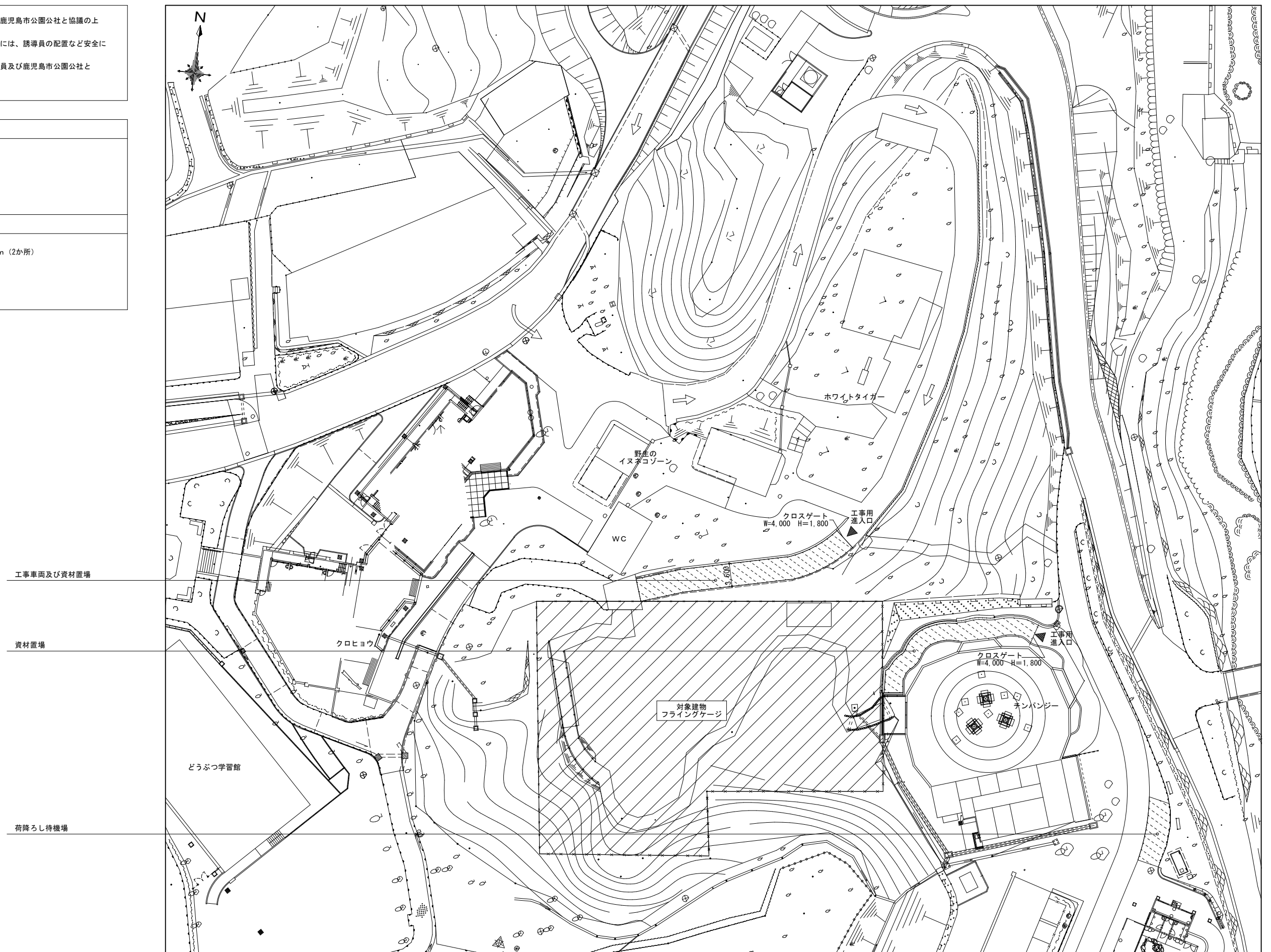
## 凡例

 — 対象建物を示す

← 車両進入路を示す

仮囲い

出入口 : クロスゲート w4.00m×h1.80m (2か所)



仮設計画図

一級建築士事務所 知事登録 第1-3-22号

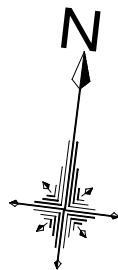
株式会社 米倉設計事務所  
一級建築士 第137511号  
米倉 眞一

平川動物公園フライングケージ改修工事

仮設計画図 (1)

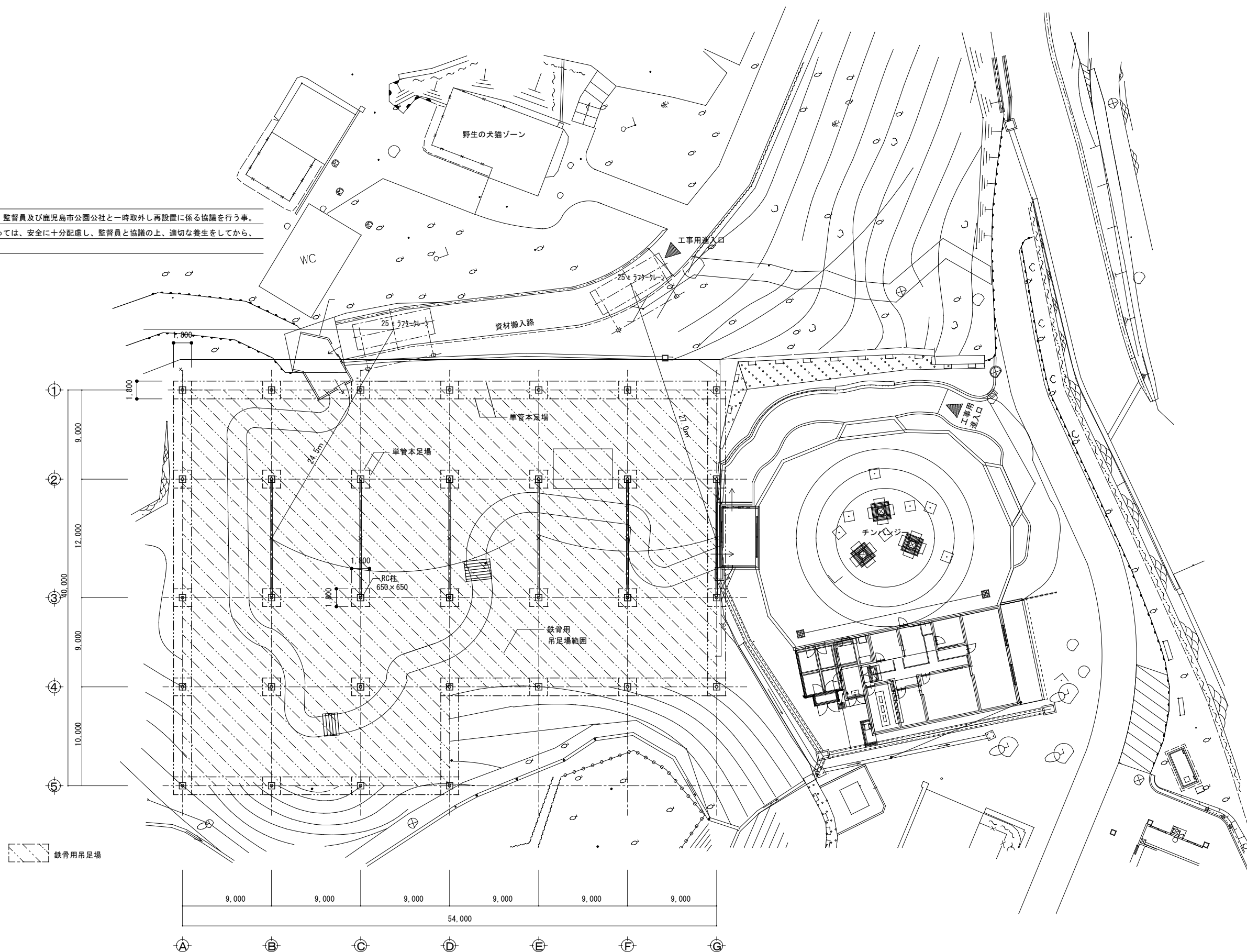
1:1/300	
3:1/600	

鹿児島市建設局建築部建築課



※鉄骨工事のクレーン作業について

1. 既存手摺が支障となるときは、監督員及び鹿児島市公園公社と一時取外し再設置に係る協議を行う事。
2. クレーンの設置・作業にあたっては、安全に十分配慮し、監督員と協議の上、適切な養生をしてから、作業を行う事。



足場計画図

参考図

一級建築士事務所 知事登録 第1-3-22号

株式会社 米倉設計事務所  
一級建築士 第137511号  
米倉 真一

平川動物公園フライングケージ改修工事

仮設計画図 (2)

A1: 1/200  
A3: 1/400

鹿児島市建設局建築部建築課

A-18